

福祉情報誌

編集／社会福祉法人AJU自立の家
福祉情報誌発行委員会
発行／AJU車いすセンター
AJU自立生活情報センター
連絡先／〒466-0015
名古屋市昭和区御器所通3-12-1
AJUリサイクル相談事業部内
TEL (052) 851-0059
FAX (052) 851-0159

暮らしに役立つ、ちょっとわくわくすることがある、そんな情報を贈ります。

平成16年4月20日(火)増刊 週刊6190号 AJU自立の家
昭和54年8月10日 第三種郵便物許可
発行所／東海身体障害者団体定期刊行物発行協会
名古屋市中区丸の内3-6-49 みこころセンター4F

AJU自立の家

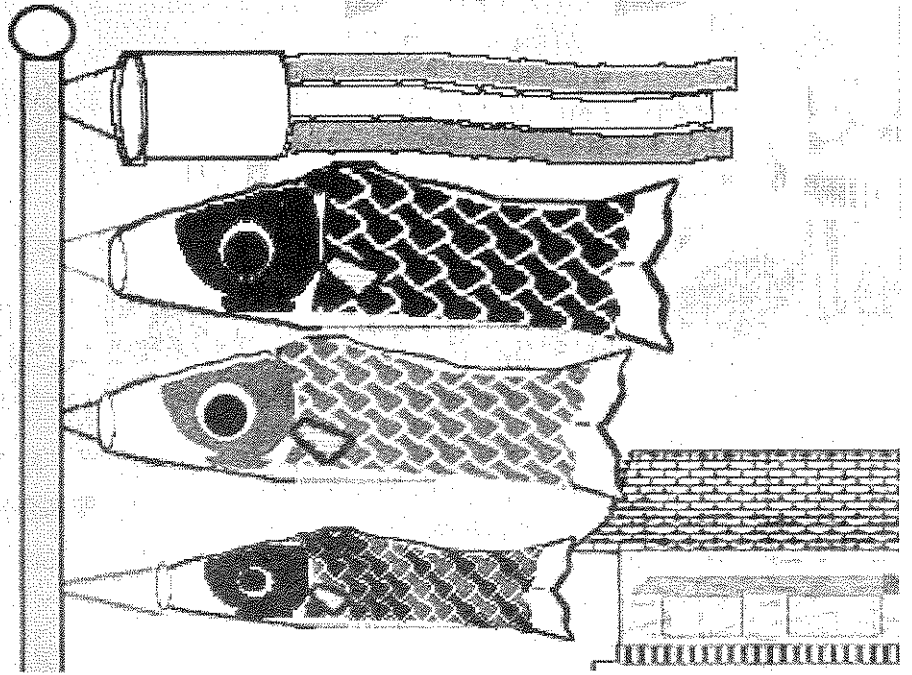
第69号

2003年4月10日号

定価 **250円**

テーマ

暮らし



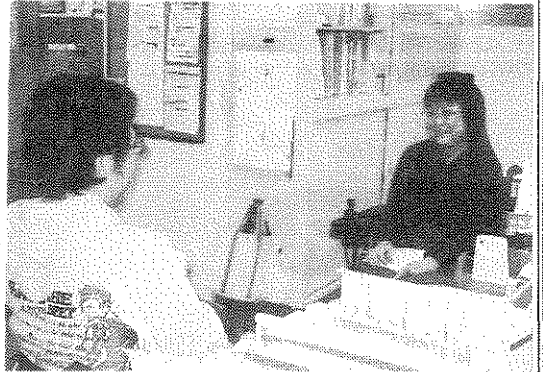
はじめの一歩をふみだしたあなたへ

- 特集 『活動 ひと紹介』 第5弾
AJU 講台系派遣事業について! ... 1
- さつきの突撃体験レポート
いちご狩りに行って来ました! ... 6
- 頸損の原田さんレポート
パラミタ美術館とプラネタリウム ... 8
- 福祉制度情報 10
支援費制度の動向
- そらいろ探検隊 第14回 13
天白区のTさん邸
- 当事者運動を取材! 16
交通大行動のその後 第2弾
- かつきのページ 18
- トラベル情報 19
「シンガポール6日間」
「ポラポラ島8日間」
「道南、道央ツアー」
- グルメ情報第32弾 22
Buco di Muro (ブコ デイムーロ)
- 読者の声 23
「岐阜情報」「教えて」
- いろいろ情報 28
「診療所マップ」
「支援費制度実態調査報告書」
「生活保護の貯蓄」
「ベンチレーター国際シンポジウム」

LOVE

ハンディがあるからこそ、できること。 AJU講師派遣事業について、紹介します！

1981年の国際障害者年より前の'73年から、「愛知県重度障害者の生活をよくする会」（本誌の母体）など、私たちの先輩（障害当事者）による運動がずっと続けられてきました。そして、運動の成果、時代の流れの後押しもあり、「ハートビル法」や「交通バリアフリー法」ができ、この20年で社会はずいぶん変わりました。しかし、まだまだ、いろいろな問題にぶつかったり、あきらめなければならぬことも多くあります。特に大きな問題として考えられるのが、就学や就労。



今回は、その「就労」について、「障害をもっているからこそ、できる仕事」と銘打ち活動している、社会福祉法人AJU自立の家 自立生活情報センター所長 鬼頭義徳（本誌編集長、頸随損傷）にインタビューしました。インタビュアーは、編集委員の“ちか”（リウマチ）です。

Q: 事業を始めたきっかけを教えてください。

A: 1981年に常務理事の山田の提案で、愛知県社会福祉協議会からAJU車いすセンターが受託し、県内の市町村の小中高学校へ「車いす実践教室」として講師を派遣しはじめた。その活動の中で、障害当事者自らが自分たちのことを伝えていくことの意義を確信し、自立生活情報センター（本誌発行担当部署）で平成9年から事業として本格的に実施することになった。

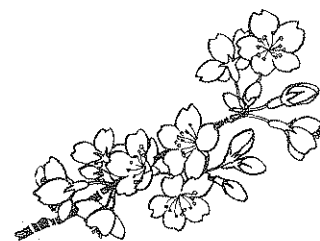
Q: 講師派遣事業の目的を教えてください。

A: 大きく分けると次のふたつがある。ひとつは、障害を持つ人が自らの経験や技術を、講座や研修等で伝えることにより、ノーマライゼーションの理念の普及をはかること。もうひとつ

は、障害を持つ人自身が講師としての役割を担うことにより社会参加と就労の機会を確保すること。

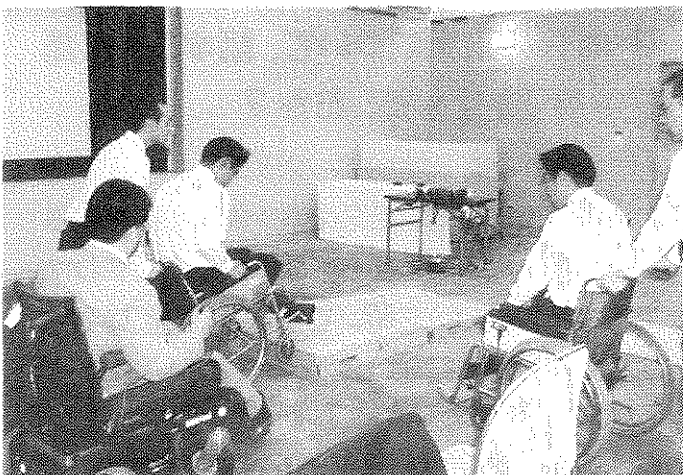
前者については、社会環境の不便さや不自由さにいち早く気がついている障害当事者だから伝えられるし、伝える役割があるともいえる。私たちの活動は、年をとっても寝たきりになっても、誰もが住みやすい社会をつくることを目指している。

後者の就労については、障害をもっていると選択肢がとても狭いというのが実状。働きたいと思っても、十分な教育を受ける機会が少なかったり、経験不足で仕事に就けなかったり、また、就労先や通勤手段などの環境が整っていないで仕事に就けないでいる。



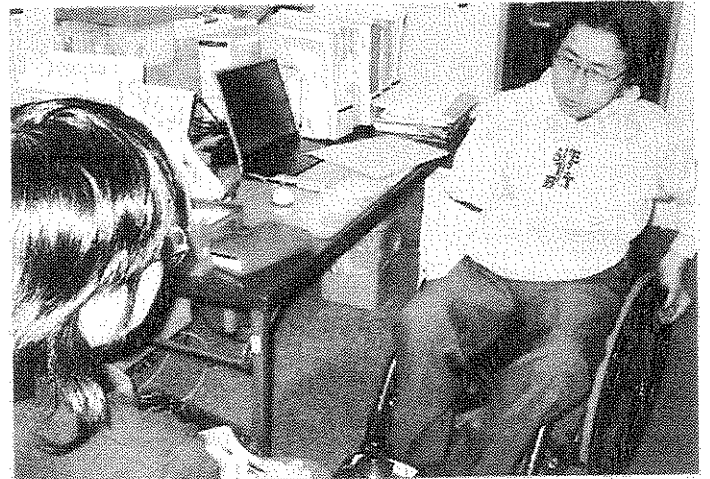
**Q:派遣先は、どのようなところで
すか？**

A:小中学校や高校、大学、看護専門学校、ヘルパー養成事業などからの依頼が多い。また、企業、行政などの依頼にも対応している。して、独自で開催している「小中学校教員向け講座」や、愛知県から受託した「交通・宿泊事業者向けの研修」の講師としても活動してもらっている。来年は愛知県に空港が開港し、万博が開催される。愛知県を訪れる観光客を迎える交通、宿泊事業者を対象とした研修を今年も実施する予定。



Q:どのような人が、講師になれますか？

A:障害をもっている人で、「伝えたい!」「伝えよう!」という意欲のある人。本人の講師としての努力は必要になる。話す(*1)、相手にわかるように伝えるといった技術的なことの他に、知識を深めるため、いろいろな講座を受講したり、セミナーに参加するなど、積極的に勉強する必要がある。
(*1)言語障害のある人で、予め原稿をつくっておき、誰かに代読してもらったり、パソコンの読み上げソフトで原稿を読ませるなどの工夫をする講師もいる。



**Q:講師になるにはどうしたらいい
のですか？**

A:講師養成講座を受講してもらう。視覚、聴覚、肢体不自由の人を対象に、年1~2回、講座(初級編・中級編)を開設している。

**Q:講座を受ければすぐに活動が始まる
のですか？**

A:模擬講演や先輩講師の活動に同行してもらう。模擬講演でスタッフの了解が得られれば活動が始まる。もう少し勉強して模擬講演に再チャレンジという場合も多くある。また、模擬講演の様子は毎回ビデオに録るので、自分でそれを見て研究したり、先輩からアドバイスを受けることもできる。

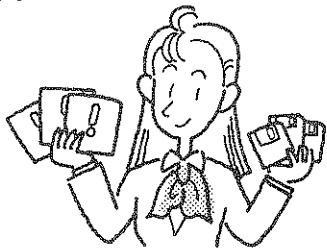
Q:収入はどのくらいになりますか？

A:1ヶ月いくらという固定給ではなく、1回の派遣につきいくらとなる。たとえば、小学校で30分講演して、その後、60分間車いす体験の講師をすると、6,500円(交通費を含む)となる。



Q:障害をもつ人の「仕事」についてどのように考えていますか？

A:この事業の目的のところでもふれたけど、「仕事の選択肢」が狭い理由は、いろいろ考えられる。社会の環境が整っていないことや、本人の体力的なことがあるでしょう。また、本人の努力不足といった場合もあるでしょう。前者の場合、この事業で生活が支えられるようになればと思っている。「仕事」をどのように考えるか。障害が重いと仕事（生産的な）ができない、と考えるのではなく、生産的な仕事はできなくても、“生きていること”“自分を表現していくこと”が、社会に対しての‘仕事’ではないかと思っている。



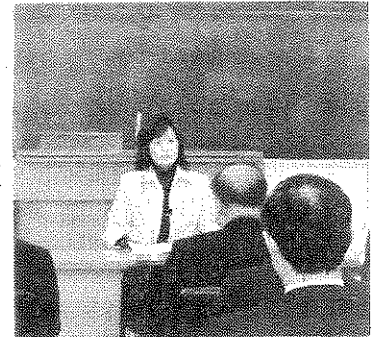
.....
講師として活動している人に、聞きました。

鈴木さん(女性・30代後半)
筋ジストロフィー症、電動車いす使用

Q:講師を始めた理由を教えてください。

A:車いすを使うようになった頃（10年位前）、歩いていた時には考えられない、「どうしてこういう対応されるの?!」ということが色々あった。一人前として見られなかったり、妙にやさしくされたり。今の多くの大人達は今まで障害のある人と接したことがないから、知らないから、ぎこちなさが出るんだろうな、それなら知ってもらおう活動をしようと思った。

自分の身近に甥や姪や友達の子どもがたくさんいるけど自然でぎこちなさはない。子どもの時から一緒にいたり話したりが大切だと思った。子ども達が将来万が一障害をもつことになったとしても、可能性をあきらめないで欲しい、生まれてきてよかったって思ってもらいたい。そう思える、障害や疾病に対する人の考え方を含めた環境を、みんなで考えて創っていきたく思った。それがおおもとかな。



Q:自分の障害について、話すことに抵抗はありましたか？

A:それは特になかった。自分が伝えたいことの題材や例として、自分の事や障害の事を取り上げるが、障害のことを前面に出して話すわけでも、障害について聞いてもらいたいという趣旨で話すわけでもない。

**Q:どんなことを伝えているのですか？
 具体的に紹介してください。**

- 小中学校の授業2こま（45分×2回）の場合
 - ・ 講演 自分の小中学生時代のこと、街に出たときのこと、人の考え方についてなど。
 - ・ 車いす体験 目的、コースのポイント、車いすの取り扱い方、体験
 - ・ 質疑応答、まとめ。
- 地域住民を対象とした場合（30分程度）
 - ・ 講演 障害のある人を含めて、自分達が地域社会で暮らすということを考える。
- 医療・福祉系専門学校向けの場合（30～90分）
 - ・ 講演 障害の捉え方、従事者に望むこと

Q:派遣先の反応はとうですか？

A:障害をもっている人から話を聞くと機会はなかなかないという意味で、「貴重な話が聞けた」という反応が一番多い。ただ、一般の大人の場合もそうだけど、小中学校などは特に、先生方がどんな障害観を持っているかによって子ども達の導かれ方が異なってくる。「こんなに大変なのに頑張っているんですよ、皆さんも頑張ってお手助けをしてあげましょう。」というような一時代前の捉え方をされている方もいれば、「みんなが共に暮らすには…」というところに視点を置かれている方もみえる。でも、そう言ってる先生が共に暮らしたことはないから、実のところよくわかっていない。だから、ゴールをどのように持っていくかは、講師の技量が問われるところだと思う。

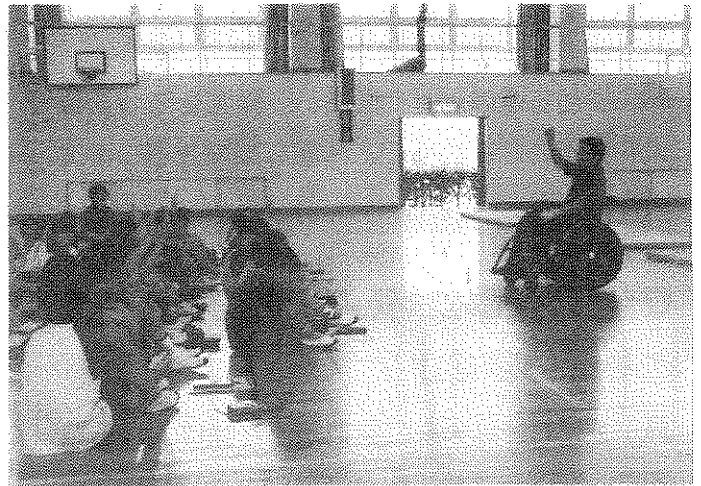
Q:この仕事に対して、どのようなことを思いますか？

A:私自身は小学校から大学までずっと一般の学校に通って企業に就職した。だから、周りに障害をもっている人はいなくて、小中学校時代は特に、自分と友達との違いについて、表には出せないコンプレックスや孤独感を持っていた。だから小中学校では、障害のある無しに関係なく、自分自身や周りの生活環境についてそんな風に切ない思いを抱いている子に対して‘自分は自分。人と違っていいんだ。’‘自分の事をあきらめない。’というメッセージを込めたいと思っている。大げさかもしれないけど…。でも結構、自分が何か抱えてる子は、手紙をくれたり、学校での授業の後に話をしに来たりする。ほんの少しでもその子の強さになっていくといいなと思う。

困っている当事者が話すと、どうしても自分を真中に置いた‘お願い事’になりがちになる場合が多い。でも、それは避けたいと思っている。もっと広い視野で物事を見て初めて、聞いて

てる人に共感されるんだと思う。そんな伝え方ができるようになりたい。

三好さん(男性・31歳)
頸随損傷、手動車いす使用



Q:講師を始めた理由を教えてください。

A:何もしていなくて家でテレビばかり見ている生活に嫌気がしていた時に、丁度この事業の講師養成講座のことを知り、何かを始めるきっかけになればと思い、受けてみた。正直、この講座を受けて何をするのか何も知らずに受けた。思いつきに近い状況だったけど、僕自身の第一歩となった。

Q:自分の障害について、話すことに抵抗はありませんでしたか？

A:最初は少し抵抗があったが、慣れてしまったというか、あまり気にならない。



Q:どのようなところで講師をしていますか？

A:小中学校の総合学習の授業が多い。他に、企業向けも少し手伝っている。

Q:派遣先の反応はとうですか？

A:子ども達は正直で面白い。障害をもってる人を見るのが初めてで、率直な疑問をぶつけてくる。

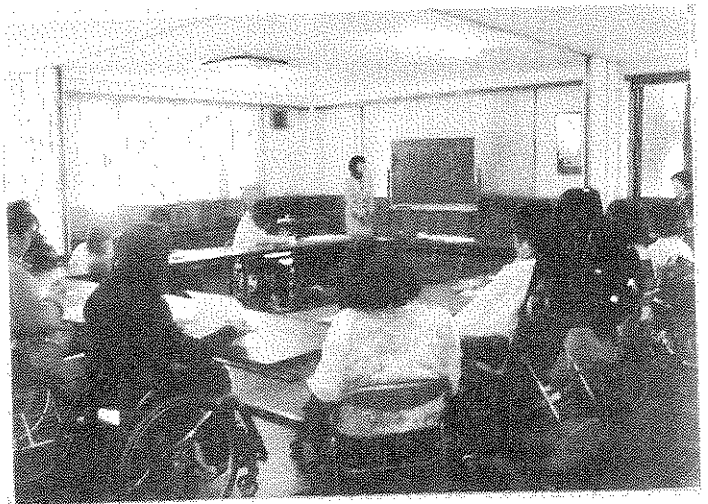
Q:この仕事に対して、どのようなことを思いますか？

A:子ども達は素直に見たままを受け入れられるが、教師を含め大人たちは中々そうはいかない。人生経験があるほど固定観念があるというか…。その意味では、まだまだこの仕事の意義はあると思う。

感想

「障害があるからこそ、気づくこと、伝えられること、できることがある」という、障害を持つ自分自身の経験を生かし、誰もが住みやすい社会を実現していくことをめざしたこの事業は、世の中を変えていくと同時に、障害を持つ私たちの就労 社会参加の選択肢のひとつとなっているようだ。「障害があるからこそ」という前向きなとらえ方をした二人の講師の思いは熱い。実は、「人に伝えていくことはとても重要なことだ」と思い、私もこの講師養成講座を受講した。その講座の中で、天野鎮雄講師（俳優）の「うまく話せるようになるには、練習、練習、また、練習しかありません。相手をジャガイモと思って、話すといいよ。」は、忘れられない。私は、今、本誌の取材や、誰もが住める街づくりの活動をしている。その中で、相手にわかるように話す、伝えるということは、欠かせない。練習、練習、また、練習なのだ～。がんばるぞ！読者

の皆さんで、「私も経験を基に何かを伝えていきたい！」「こんな活動がしてみたかった」という方はみえませんか？



☆☆☆データ☆☆☆

名称：障害者講師派遣事業

講師：約70名が登録

派遣：平成15年は約130ヶ所へ派遣

講師養成講座：初級と中級がある。

有料、全日程参加できること

○初級 全7回、1回2時間

「障害のとらえ方」「車いす体験の実際」「話し方、マナー」などについて学ぶ。

○中級編 全8回、1回2時間

「身体障害の種類と特徴について」「視覚 聴覚知的障害者の理解」などについて学ぶ。「模擬講演」をして講師からアドバイスあり。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

**講師になりたい方！
講師の派遣を依頼したい方！
お問い合わせは下記へ**

自立生活情報センター サポートJ
〒466-0035 名古屋市昭和区松風町2-28
ノーブル千賀1F
TEL052-841-6677 FAX052-841-6622

いちご狩りに行って来ました！

こんにちは、さつきです。3月18日（木）くれよんBOX（名古屋市昭和区）のみんなでいちご狩りに行って来ました。くれよんBOXとは、本誌の編集委員が中心となり作った小規模作業所で私も所属しています。

知多郡阿久比町の「マリモファーム」へ出発！

くれよんBOXのメンバーとボランティアさん含め、15人（内車いす6人）でリフト付きの車2台と乗用車1台に乗り込み昭和区を出発。

行程

- 11:30 名古屋高速（吹上より）→知多半島道路（半田常滑IC）でおりる
- 12:15 新美南吉記念館（半田市）でトイレ休憩
- 14:00 マリモファーム到着
いちご狩り
- 15:00 大府へ向け出発
- 15:45 JAめぐりタウン「げんきの郷」到着
足湯体験、買い物など
- 17:30 名古屋へ向け出発
- 19:00 名古屋市昭和区到着

ひとまず、トイレ休憩

『マリモファーム』には車いすトイレがないため、まずそこから車で5分くらいのところにある『新美南吉記念館』（半田市）でトイレ休憩にした。記念館入口近くの屋外に車いすトイレがあります。



いちご狩り

乗り降りでもたもたしていたら時間がかかり、いちご狩りは15時までなので、気持ちだけ急ぎました。14時『マリモファーム』に到着。ファームの人に案内され、いちごのハウスに車を横付けしました。

ハウス入口、ハウス内も段差はなく地面もシートが張ってあり、いちごは車いすでも取りやすい高さにありました。



まずは、いちごのとり方の説明を受けました。

- ・品種は章姫（あきひめ）。練乳を付けなくても甘くておいしい。
- ・とり方は、いちごの実を持ち、莖を引っ張らずそのまま横に傾けてポキンと折るとよい。
- ・大きさに関係なく、全体的に赤いものおいしい。





いちごを取って食べてみました。取りやすい位置になっているし、何より甘くて、おいしい！うれしかった。練乳はやはり不要でした。みんなお腹いっぱい食べて、満足そうでした。帰りにいちごのお土産を買いました。

1パック250円～500円でお買い得でした。

JAあぐりタウン「げんきの郷」へ

大府市にある「げんきの郷」に15:45到着。ここは、食事や温泉が楽しめるところです。団体で動くのは難しいので自由行動にしました。私はまずトイレに直行。そして、一緒に行ったボランティアさんと、楽しみにしていた「足湯」に入ることにしました。入口のスロープを上がると、小さいお風呂が1つと大きいお風呂が1つありました。私たちは入口に近い大きいお風呂に足をつけました。20分くらいのおんびりと浴槽の縁に座って「足湯」を満喫。お湯は透明でつるつるした感じで少し熱めでした。寒い日だったので、足が温まり、気持ちよかったです。



そのあと、手作りのパンや五目ご飯など買い物を楽しみました。他の人もそれぞれ食事など楽しんだようです。17:30げんきの郷を出発し、帰路につきました。

“日帰りで近場の旅”でしたが、行ったことがないところで「いちご狩り」も「足湯」も体験できて、とてもおもしろかったです。みなさんもこんな旅を楽しんでみませんか？

.....

データ

●新美南吉記念館 9:30～17:30

「ごんぎつね」の作者で有名。館内は展示室、図書室等があり、屋外には遊歩道もある。屋外トイレは無料で使える。

場 所：愛知県半田市岩滑西町1-10-1

TEL 0569-26-4888 FAX 0569-26-4889

http://www.nankichi.gr.jp/index_top2_summer.html

観覧料：高校生以上210円（身障割引なし）

交 通：知多半島道路半田・常滑ICより東へ3分

●いちご狩り「マリモファーム」 事前予約が必要

場 所：愛知県知多郡阿久比町植大東矢勝7-1

TEL:0569-49-2117 FAX:0569-49-2118

<http://www3.ocn.ne.jp/~marimof/>

営 業：12月上旬～6月下旬 10:00～15:00

*車いすトイレなし

料 金：4/7～5/5は1,200円。5/6～6/末は1,000円

交 通：半田・常滑インターを降りすぐの信号を右折。次の信号を左折。

●JAあぐりタウン「げんきの郷」

広い敷地内には温泉の他に、地元で取れる魚・野菜の販売や食事スペースがある。

場 所：愛知県大府市吉田町正右工門新田1-1

TEL 0562-45-4080 FAX 0562-45-4085

<http://www.agritown.co.jp/>

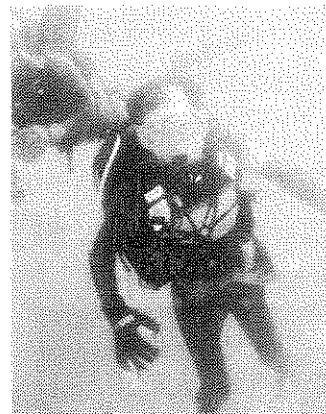
足 湯：一人100円 タオルは200円で貸してくれるけれど、持参するといいわ！

その他：車いすトイレ、車いす駐車場あり

交 通：知多半島道路 大府東海ICより10分

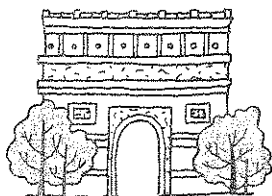
「パラミタ美術館」と「プラネタリウム」

パラミタ美術館へ行ってきました。この美術館は、故池田満寿夫さんの作品を常設展示している美術館で、三重県三重郡にあります。3月20日に開館一周年を記念して、奥さんである佐藤陽子さん（昔、天才少女ヴァイオリニストと言われた）のヴァイオリン演奏会が催されたので行ってきました。更に前日に某大学の掲示板で四日市市プラネタリウムで催し物があることを知り、さっそくに行ってきました。



パラミタ美術館

アクセス: 東名阪の四日市ICを降りて西へ約7km、国道477号線のすぐ脇に美術館があります。ちょっと前から、緑の「●」が四つ並んだ、この美術館のシンボルマークを時々見かけます。最後は美術館に一番近い駐車場入口の50m手前にあります。入口はガードレールが途切れているだけなので初めてだと判り難いようです。道路側の一番隅に身障者用駐車スペースが1台分設けてあり、玄関までは点字ブロックがあります。



館内: 展示室6室と売店、持ち込み可能なサロン（木製の椅子とテーブルが多数）があります。館内バリアフリー。エレベータ1基あり。健康のためにエレベータは使いたくないという人のためには、折りして長いスロープや階段も用意されていますのでご利用ください。

車いす対応トイレ: 一階と二階にある。

展 示: 池田満寿夫さん（国際的版画家）の展示作品の中で、般若心経シリーズの茶碗、陶版、陶版画は、展示位置が高すぎるので車いすでは見難いです。

近々のイベント

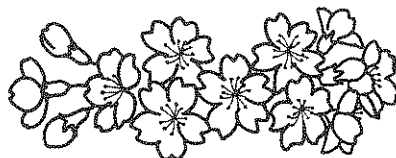
- 6/30まで 河本五郎展、河本太郎展
- 5/23（日）2:00p.m.～
稲川永示 コントラバスコンサート

屋 外: 「パラミタガーデン」とよばれる庭があり、四季折々の花が咲き乱れる?ようになっています。ただ、建物をちょっと離れると小石を敷き詰めた小路になっているので車いすだと介助が必要です。

料 金: 1000円（身障者割引なし）

駐車場: 無料、普通車100台（身障用1台）

アクセス: <鉄道> 近鉄〔湯の山線〕大羽根園駅（ホームと車両の段差以外は階段なし。無人駅）下車、徒歩5分。<車> 東名阪 四日市I.C下車、国道477号（湯の山街道）を湯の山方面へ約6km



三重県三重郡菰野町大羽根園
TEL 0593-91-1088 FAX 0593-91-1077
<http://www.paramitamuseum.com>

とろろめし^{じねんじょ}自然薯料理 茶茶

美術館から昼食などで外へ出たい場合には半券にスタンプを押してくれます。美術館を出て東へ100m程行くと「茶茶(ちゃちゃ)」という、とろろ飯屋さんがありました。

店内:入口には三段の階段がありますが、簡易スロープが準備されているので、車いすのまま入ることができました。壁?はガラス張りなので、玄関からちょっと外れる方向(東)に行けばレジから見えるので店員さんに手を振って手伝ってもらいましょう。



メニュー:一品料理から定食までいろいろ。980円の「とろろめし」は、ご飯もとろろも丼2杯分にお新香付、お茶もトロッとしていて、とても美味しいものでした。料理は全て自然薯を使ったもので、芋をすり潰している様子もガラス越しにカウンターから見えます。自然薯などを使ったおみやげ物もいっぱいあります。

一口メモ1:昼食時になるとお客さんが次から次へと入ってくるので、混むのがいやな方は、1時間ほど前か後にずらした方が良いでしょう。

一口メモ2:美術館と「茶茶」の間の側道は片斜面になっており、道路側はガードレール、反対側は蓋なしの深い側溝になっているので落ちないように注意してください。私も危うく落ちるところでした。



営業:11:00~21:00 (オーダー受付) 無休

アクセス:<鉄道>近鉄〔湯の山線〕大羽根園駅(ホームと車両の段差以外は階段なし。無人駅)下車、徒歩1分。

三重県三重郡菰野町菰野4673-6
TELフリーダイヤル0120-1066-94
FAX 0593-94-4466
<http://www.cha2.co.jp/framepage1.htm>

四日市のプラネタリウム

近鉄四日市駅に近い「四日市市博物館」の5階にあります。「プラネタリウム」は名古屋市科学館のものに比べたら直径で半分程度というところでしょうか。車いす用?のスペースがありましたが見やすい中段に上げてもらいました。その日は特別企画の日で、講師は、最近天文の分野で色々と発見をされている福井康雄教授。「南回帰線を越えて」というテーマで、南半球で見える天の川と南十字星、石炭袋など南の海に行ったときに参考になる話や最近の天文学の話題が聞けました。

近々のイベント

●5/2日(日)13:20~「しまじろうの星空大冒険」*字幕付

上映時間:10:30~13:20~14:40~16:00~

*家族向け内容と大人向け内容の時間があるので、事前に要確認

休館:月曜、年末年始

料金:<通常>530円(身障手帳提示で半額)、
<天文学最先端のゲストを迎えた特別版>800円
(身障手帳の提示で半額以下の380円)

駐車場:なし

アクセス:<鉄道>近鉄四日市駅(車いすで利用可能)下車
西へ徒歩5分

★移動天文車「きらら号」★

望遠鏡をのせた車(車いす用乗降リフト付き)で、希望により四日市市、鈴鹿市、三重郡内の各地へ出かけて天体観望会を行っている。

申し込み:1年前から先着順で受付

料金:無料。詳細は、下記へ



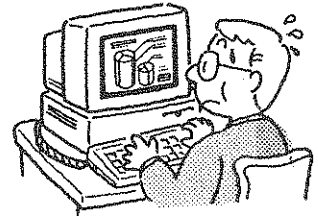
四日市市安島1丁目3-16

TEL0593-55-2700(代) FAX0593-55-2704

<http://www.city.yokkaichi.mie.jp/museum/index.html>

支援費制度の動向

昨年4月、支援費制度がスタートしましたが、地域格差は依然として大きく、また、ホームヘルプサービスは、地域で生活する障害のある人が積極的にサービスを活用し、国の予算の見込みを大幅に超えた結果、支援費が不足し、ホームヘルプサービスの国庫補助金14億円という不足分を市区町村に負担してもらうという状況になってしまっています。現状をレポートします。



不足分のホームヘルプサービスの 国庫補助金は？

「来年度のホームヘルプの予算は342億円で、すでに不足することが見えている現状にどう対応するのか？」という、当事者団体からの指摘について、厚生労働省は、「国庫補助基準については現状のものが良いとは思っていないので、今年の実績や障害者団体・自治体などの意見を聞きながら在り方検討会で議論いただく。」「4月から事業運営の工夫と言うことで単価の引き下げを行ったし、10月からも様々な見直し工夫をしていく。サービスの質と量を確保しながら制度の安定的な運用を図っていく」と答えている。何とも先の見えない、曖昧な言い方で、不安が募るばかりだ。市区町村の負担がまた増えることになれば、財源の問題から必ずサービス利用の上限問題が出てくるのではないだろうか？

支援費制度と介護保険制度の 統合について

厚生労働省の「社会保障審議会障害者部会」は、今年3月、介護保険と支援費制度の統合についての審議を開始しました。介護保険制度改革の方向性を示すとされる6月に合わせて意見集約する方向。

●各地の行政の動き

東京都は、介護保険制度との統合は必要とい

う方針で提案書をまとめ、厚生労働省に提出している。また、知事や学者、経済人らでつくる「地方分権研究会」が、同研究会の「障害者支援プロジェクトチーム」に参加している、神奈川県、宮城県、岐阜県、和歌山県、鳥取県、佐賀県の全334市町村を対象に統合についての調査を行ったところ、64%が「統合に賛成」と答えている。

●障害者団体「DPI日本会議」「全国自立生活センター協議会(以下、JILと略)」の動き

JILが当事者対象に行った緊急アンケートで、当事者の85%は支援費制度と介護保険の統合に反対しているという結果が出た。

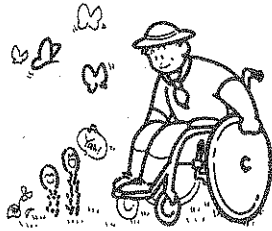
以下は、上記の団体が厚生労働大臣へ提出した考え方です。

DPI日本会議の介護保険との統合におけるスタンス

(前略)現状の協議の内容を詳細に検討したところ、現段階ではDPI日本会議及び全国自立生活センター協議会は介護保険への統合については、以下のような疑念が解消されない限り反対の立場をとらざるを得ないことを表明いたします。

1. 自立の理念が介護保険では介助を使わなくなることが自立なのに対して、支援費制度においては成長の過程で失敗から学んでいくことを含めた自己選択、自己決定の自立という

意味でまったく異なっています。これをどのように実質的に保障していくのか示して下さい。社会参加の理念も同様にデイケアセンターに通うことが介護保険の社会参加であり、支援費制度ではあらゆる場での社会参加を意味しています。これについても特に新規利用者に対してどのように保障していくのか具体的に示して下さい。



2. 障害者が介護保険に入った場合に応益負担になります。資産形成をしてきた高齢者に比べ年金 手当てしか収入のない人が大多数を占める障害者と同列に扱うことには根本的に無理があります。障害者に応益負担を求めた場合、自己負担は自立の断念につながります。多額の自己負担は家族にも負担を求めることになり、財政的な負担を理由に家族に自立を阻まれる要因を作ることにもなりかねず容認できません。

国家としてまず国民の福利厚生を考えることが基本であり、その責任放棄を税財源の不足を理由に行うことは将来の国家存立基盤を危うくする根本的な誤りと考えます。

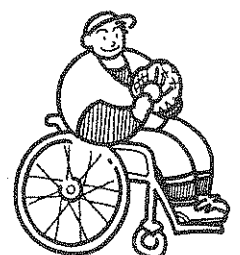
3. 介護保険のホームヘルプを基礎部分として、それを越えて必要なホームヘルプ2階建て部分として、税金で行うという案が出ていますが、2階建て部分が税金で賄われるならば、9割以上の市町村では1階建て部分のみとなる可能性が高く、命のかかった介助を受けての生活をそのような不安定な基盤の上におくことはできません。少なくとも、国は2階建て部分を確実に保証する具体的な論拠を示さない限り、従来の国庫補助事業の仕組みでは支援費ですら**財源確保**がままならなかったところをさらに不安定にするだけになります。



4. 介護保険制度においては、35万円の上限を超えてサービスが必要な場合、命が不安な状況に陥っても被保険者の負担による上乗せ部分を作る以外に法的な救済手段はありません。一方支援費制度においては、介護保険の上限（一日3時間の身体介護）を越えるサービスが必要であるにもかかわらず市町村が支給決定しない場合には行政不服審査請求を出す法的救済措置が残されており、介護保険との統合においてこのようなセーフティネットを張れるか、張れないかをお答えください。お答えいただかなければ介護保険への統合の判断はできません。

5. 介護保険では79項目の**アセスメント**があり、その介助時間積み上げ方式の延長上に、個人のニーズに基づく個別化原理による社会参加部分の介助時間を積み上げることはシステム上不可能と考えます。同一サービスに支援費制度と介護保険の2つのアセスメントは同時に載せられない限り、この問題の解決はないと考えます。われわれが考える自立と社会参加の部分を生かせる方法は、支援費制度の当事者のニーズを尊重するアセスメント以外にありえないと考えます。

6. 介護保険においては**ケアマネジメント**が実質的に義務付けられており、**ケアプラン**の変更はケアマネジャーを通してしか出来ないうえに、医師を中心とした認定審査会での意向が反映され、本人の自立ニーズがストレートにサービスに反映しないシステムになっています。障害者は自分の人生の主人公であり、その日のケアプランを自分で自由に組み立てる権利を有しています。この権利性を失うことは自立生活の放棄につながります。



7. 介護保険はホームヘルパー3級以上を必要とし、2級資格を基本としております。一方、障害者は学生や若い同性の介助者を求めるという傾向があり、支援費制度発足にあたっては、みなしヘルパー制度や日常生活支援などの類型に基づく新たな**介助者資格制度**を設けました。また、ガイドヘルパー（視覚障害 全身性障害 知的障害）は障害独自の資格制度です。介護保険制度に統合されることはこれらの特別な資格制度はなくなることを意味しており、1サービス2制度が実施されない限り解決の方法はないと考えます。

以上の理由から厚労省から上記の諸点について回答がいまだに提示されない限り、DPI日本会議、全国自立生活センター協議会としては、現状においては介護保険統合反対の団体見解を公表せざるを得ません。

個人的感想

昨年スタートしたばかりの「支援費制度」、まだまだ動き始めたばかりの市町村もあるのに、未来がもうゆらゆら揺れています。とても不安です。自分の責任で自分で選び、福祉サービス提供者と「契約」するという、利用者主体のこの制度は、まだまだ改善点はあるものの、これまでの当事者運動の成果と言えます。これからなのです！しかし、革新的な動きをしている都道府県の知事の多くは、財源の問題で介護保険への統合を押し、逆に、当事者団体は、統合されることで自立生活が困難になる人がいると、現状での統合に反対しています。サービス利用に上限のある「介護保険」と、上限のない「支援費制度」が統合されると、「上限のある」方にあわせてしまうことが問題です。また、「高齢者の社会参加」と「障害者の社会参加」のとらえ方が違うことが私には理解できません。例えば、介護保険では、週に1回友達と街へショッピングに行くのが

楽しみという人の付き添い支援はメニューにありません。支援費制度ではあります。この違いは何でしょう？私は、統合などという前に、高齢者も障害のある人も、人間らしく、自分らしく生きてくためには何が必要かをしっかり国民と議論し、財源確保の問題も含め、実現に向けての計画を立て、示すべきだと思います。

全国の動き

●「介護保険」と「障害保健福祉施策」の関係を考える 4.30公開対話集会

現段階の厚生労働省の基本的な考え方について直接説明を受け、意見交換を行うことを目的に開催。

◇日時：4月30日（金）午前10：30～

◇会場：中野サンプラザ13F鳳凰の間

東京都中野区中野4-1-1

◇参加費：500円（資料代含む）

◇プログラム：

午前の部（10：30～12：00）

厚生労働省の基本的見解

（塩田幸雄障害保健福祉部長）

午後の部（13：30～16：30）

シンポジウム：徹底討論！これからの介護保険と障害保健福祉施策」

村木障害保健福祉部企画課長、高原障害保健福祉部障害福祉課長、矢島障害保健福祉部精神保健福祉課長、障害者団体代表3名

◇主催：「介護保険」と「障害保健福祉施策」の関係を考える4.30公開対話集会実行委員会

（構成団体）日本身体障害者団体連合会、日本障害者協議会、DPI日本会議、日本盲人会連合全日本ろうあ連盟、全国脊髄損傷者連合会、全日本手をつなぐ育成会、全国精神障害者家

問い合わせ先：DPI日本会議事務局 三澤 崔

TEL03-5282-3730 FAX03-5282-0017

- DPI 日本会議 <http://www.dpi-japan.org/>
- J I L <http://www.j-il.jp/>
- 全国障害者介護保障協議会 <http://www.kaigoseido.net/index.shtml>



そらいろ探郵団

そらいろたんていだん

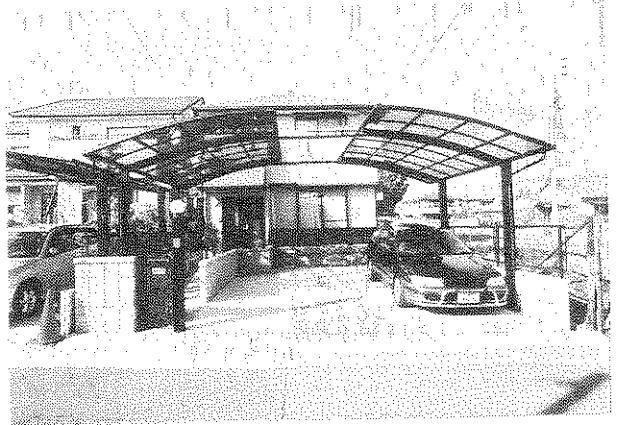


旦那さんお手製の
キャスター付ファンヒーター台

バリアフリーおたくのどんちゃんがあなたのお宅を訪問します。

～第14回 天白区のTさん邸～

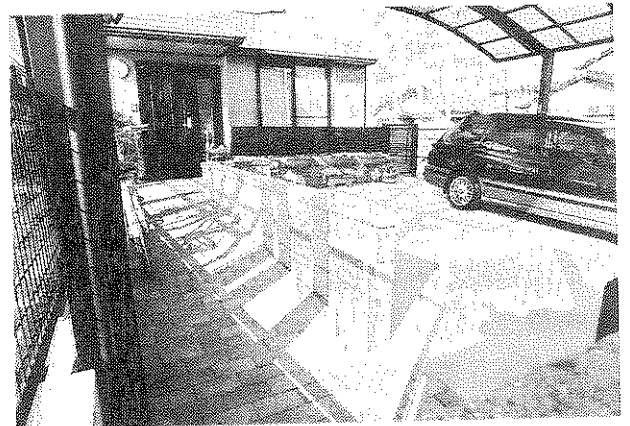
今回は天白区にお住まいのTさん宅にお邪魔しました。Tさんは脊髄損傷で手動車いすで生活されています。旦那さんも脊髄損傷で外では手動車いす、家の中では歩いて生活されています。Tさん宅は新築で建てられて今年で4年目、車いすで生活できるようにとハウスメーカーに依頼されたそうです。



全景（左にスロープ）

どん：家を建てるまでの経過を教えてください。

Tさん（以下、T）：まず始めに住宅展示場に行きました。たくさんのお宅の中で、少し段差はあったものの、唯一何とか入れたのがエス・バイ・エル備というメーカーの住宅でした。ちょうどその頃、実家の近所でエレベーターの付いた家が建ったというので見学させてもらった、偶然にも同じメーカーだったのでそのメーカーに決めました。



玄関までのスロープ

どん：設計段階で何か要望したことはありますか？

T：スロープで家の中まで入れる、2階へ上がるためのエレベーターを付ける、浴室の洗い場を浴槽と同じ高さにする、といったことが大きなところでした。

どん：設計にかかったのはどのくらいの期間ですか？

T：1999年の夏頃から打ち合わせをして、工事着工が9月ですから、2～3ヶ月と言ったところです。

どん：さすがハウスメーカーは早いんですね。何か問題などはありませんでしたか？

T：何度も設計者と打ち合わせしましたが、スロープに対して意識のズレがありました。玄関なのですが、図面からでは私たちには読み取れず、工事中も段ボールなどが敷いてあったので気が付かなかったのですが、出来上がって見てびっくり。「えっ？玄関が全面傾斜になっている！」[*1]



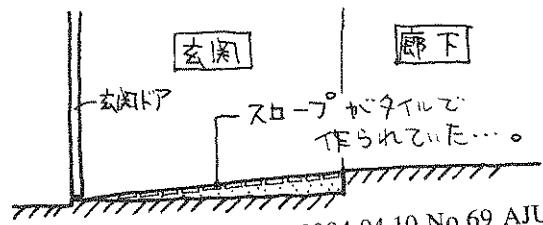
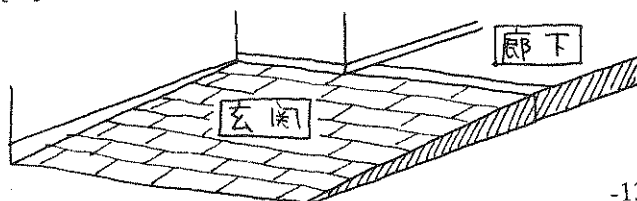
玄関（段差解消機が下がった状態）



玄関（段差解消機が上がった状態）

どん：玄関ドアの前でスロープは終わって、家に入った

[*1]「え？玄関が全面傾斜になっている！」：



ら玄関も室内も、床の高さが同じだと思っていた訳ですね。

T：そうです。設計者は段差が無ければいい、スロープになっていけばいい、と思っていたみたいです。外出用車いすから室内用車いすへの乗り換えや玄関ドアを開ける時など、傾斜になっていると不便で、どうしようかと悩みました。結局その後、名古屋市の住宅改造の補助金を使って、玄関にはあえて段差を付け、埋め込み型の段差解消機を設置しました[*2]。しかし段差解消機ですが降りるのに時間がかかって、宅配便が来た時など、せっかちな私はとても焦ってしまいます。

どん：やはり玄関はすぐ出られる方が精神的にも良いですね。それでは外のアプローチから教えて下さい。

T：玄関までのスロープですが、できるだけゆるく作ってもらいました（約13分の1勾配、幅118cm）。打ち合わせの時、設計者から「スロープの角度は0度です」と言われましたが、全然ピンと来ませんでした。

どん：設計の仕事をしていても難しいですからね。なごや福祉用具プラザなどで実際にスロープの角度を体験すると良いですね。それでは玄関を。

T：玄関扉は引き戸ではなく開き戸です。室内用車いすに乗り換えるのは段差解消機が下がった状態で行います。2台の車いすがちょうど置ける広さです（180cm×180cm）。私の外出用車いすは折りたたんで、夫は帰ってくると車いすは折りたたまずにそのまま玄関に置いています。本当はもう少し玄関を広くして、私の車いすも折りたたまずに置いておけるようにしたかったのですが。

どん：それでは玄関を上げてトイレの方を。

T：以前は車いす対応の市営住宅に住んでいたのですが、そこはトイレと浴室が一緒になっていて同時に使用することができなかったので、建てるなら別々にしたいと思ってました。

どん：見た目はごく普通のトイレですが（内法90cm）、奥行きは長めに取ってあり、引き戸も幅の広いものが付いています（幅106cm）。

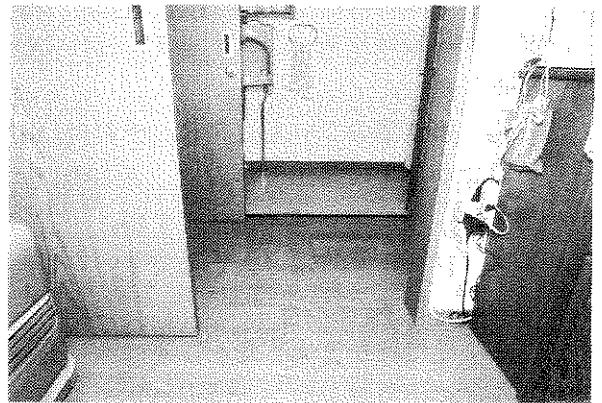
T：トイレとリビングの戸が鏡合わせのように向かい合っているので[*3]、リビングの引き戸も開ければトイレまでの広い通路が出来ます。

どん：なるほど、グッドアイデアですね。では次に浴室を見せて下さい。

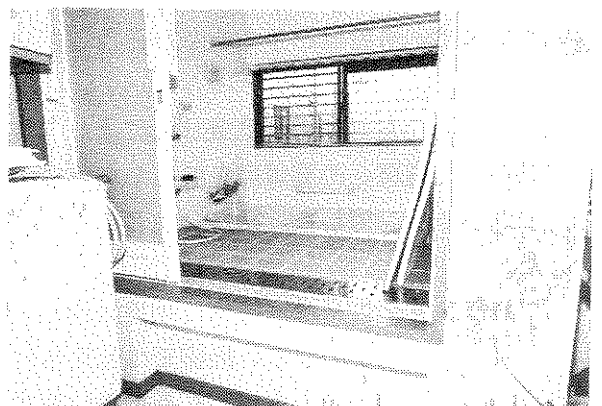
T：浴室は洗い場を浴槽の高さに上げてあります。普通の人が見たら変わってると思うかも知れませんが。



トイレ

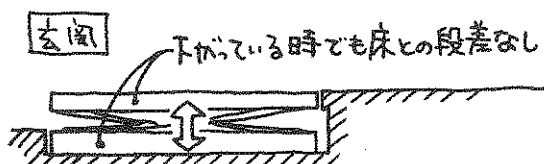


リビングからトイレを見る

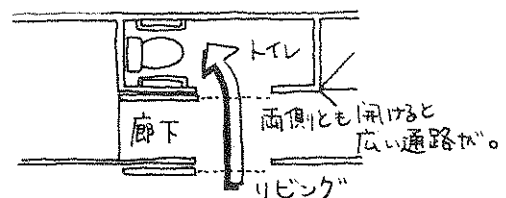


浴室

[*2]埋め込み型の段差解消機：



[*3]トイレとリビングの戸が鏡合わせのように…：



車いすで近寄りやすいように入口の下の方をくり抜き、ステップが入るようになっていきます[*4]。これは市営住宅の時、使いやすかったので同じようにしました。浴室の床の高さは私が移乗しやすい高さに設定してあります（高さ43cm）。

どん：ちゃんと新築時に作ってあるといいですね。リフォームだとなかなかここまできれいにまとまりません。それではキッチンの方を。

T：キッチンは松下電工製の車いす対応製品です。高さは自分だけでなく、家族も使えるように少し高めにしました（高さ78cm）。車いすで使いやすいようにシンクが浅めなのですが、水はねがあったり、深い鍋を洗う時など洗いにくかったりします。シンクの3分の1くらいが一般的なシンクと同じ深さがあれば使いやすいのになあ[*5]、と思います。

どん：おっ、それはいい考えですね。特許が取れるかもしれませんよ。

T：換気扇はリモコンスイッチで操作できるものを選びました。

どん：換気扇のフードにスイッチが付いてたりすると車いすからでは届かないので、選ぶ際には注意が必要ですね。次にエレベーターですが。

T：エレベーターは3人乗りです（三菱製）。物入れにも使ってます……。2階が家族みんなの個室になります。

どん：他に何か工夫したところはありますか？

T：よく使うコンセントは車いすでも抜き差ししやすい高さにしてあります（約40cm）。雨戸は電動シャッターで、室内側のスイッチで上げ下ろしができます。2階のベランダですが室内の床と同じ高さにしてあります。

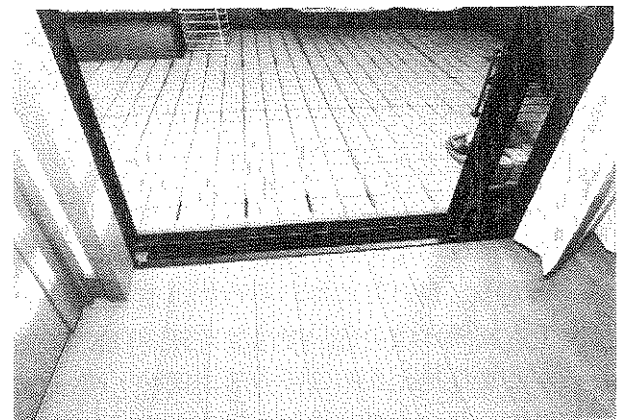
どん：雨戸は手動では大変ですから、電動というのはありがたいですね。2階のベランダへも車いすで行ければ洗濯物も自分で干せますしね。ベランダへの出入口は段差のないアルミサッシが付いています。今日はどうもありがとうございました。

Tさんのお宅の敷地は盛り土によって高くなっていたそうですが、土を削り取って土地を低くし、なるべく道路との高低差を無くしたそうです。浴室やトイレなどの水回りは必要十分な広さで無駄のないプランでした。細かいところも主婦であるご自身で何でもできるように考えられてありました。

ハウスメーカーは一般的に独自の決められた施工方法で建てるため、図面の枚数が少なく済むのですが、反面その少ない図面では伝えられる情報量も限られ、また設計期間も短いので思い違いや伝え忘れていることも出てくると思います。別の建築士に図面を見てもらい、意見を聞くのも良いかも知れません。

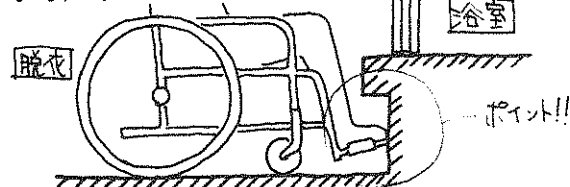


キッチン

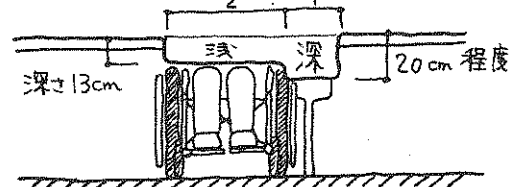


ベランダの出入口

[*4]車いすのステップが入るように…



[*5]シンクの3分の1くらいが一般的なシンクと同じ深さ…



交通大行動のその後 第2弾

『誰もが使える交通機関を求める全国行動 愛知実行委員会』では、誰もが使える交通機関を実現していくために、毎年、車いすの後ろに「誰もが使える公共交通機関の充実を！！」というのぼりを立てた仲間たちが、公共交通機関を利用しながら理解を得るためのチラシを市民に配り、その後改めて、各交通事業者に対し改善要望をしています。“ちか”と“いづみ”で交渉の様子を取材してきたので報告します。

■ JR東海との交渉の報告

交通バリアフリー法について

実行委員会：交通バリアフリー法に関連する現在の状況と、重点的に整備する地区の状況を教えてください。また、今後2010年までの計画、数値目標を教えてください。

JR東海：基本構想の策定に関しては、関係自治体に働きかけている。協議や意見を広く聞かせてもらっている自治体が十数ヶ所ある。内容的には協議前の調整状態。平成15年度の時点でエレベーター、エスカレーターを整備する駅は、

○新幹線：東京、小田原

○在来線：沼津、富士、清水、舞阪、蒲郡、岡崎、大府、金山、名古屋、高蔵寺

ホームと段差の解消も積極的に行っている。2010年までには、対象駅のうち、物理的に施行困難や大規模な改良が必要な駅をのぞいては、完了予定。

実行委員会：交通バリアフリー法に関して、貴社独自で取り組まれていることがあれば教えてください。

JR東海：独自ではないが、色覚障害の人の為、階段の所に段差シール（黄と赤の識別シール）をつけている。

鉄道について

実行委員会：エスカレーター、階段昇降機では対応できない車いすがありますが、そのようなときの対応について、具体的に教えてください。

JR東海：ストレッチャー型車いすは、1ヶ月前の10時～2日前までに駅に直接、もしくは電話

で申し込みが必要。車内で看護婦などの医療行為を受ける場合も、事前に申込書を記入していただくことと、電話で知らせる必要がある。

実行委員会：車いす利用者が新幹線に乗車しようとする場合、切符の購入など大変時間がかかります。簡略化してください。

JR東海：現段階では簡略化するためにも、確認の手間を省くため、電話であらかじめ申し込んでいただくことを勧めている。

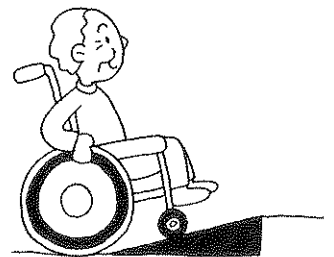
実行委員会：切符購入の際、名前と年齢を聞くのは何故か？年齢を言う必要は？

JR東海：座席はコンピューター管理している。多目的室（車いす指定席）の場合は紙で管理している。ダブルブッキングを避けたいこと。年齢については、電話で代表者が申し込む時があるので、間違いを避けたい。確認の材料は多い方が良い。

実行委員会：車いす利用の人について、介助が必要でない人の場合には、駅構内での単独移動を認めてください。

JR東海：設備の充実・改善に努めているが、ホームから車両に乗り移る際の段差は残ってしまう。法律の定めと建物の構造上などの問題でなくすことはできないため、

駅職員が手伝わなければならないことになっている。一般のお客様も、車いす利用のお客様も同じように大事なお客様。安全確保が具体的な仕事で、誘導もやっていかなければならないと考えている。簡略化は考えられない。



実行委員会：電動三輪の乗車を認めてください。

JR東海：国土交通省からも検討しなさいと言う話があった。各方面から検討してきたことは事実。エレベーター設置駅で駅構内の中での段差解消も進んでいるが、まだ途上。車両の形が都市型、郊外型のタイプがあって同じダイヤの中で交差していることも大きな問題。車両工事も進めている。車いすを設置できるような改造も順次進めている。そこが、ある程度クリアされて、あるエリア内ですべての車いすに対応できるようなスペースのある車両を走らせることができれば、ご利用を順次認めていけるのではないかと思う。今のところは正直、時期早々と判断。

実行委員会：チェアメイトの安全性について、東京の私鉄はもう導入しないと聞いておりますが、貴社の考えをお聞かせ下さい。

JR東海：当社ではチェアメイトではなく、エレベーター等の整備を進めている。

バスについて

実行委員会：貴社のバスにも誰もが利用できるノンステップバスを導入してください。

JR東海：高速を走る高速バスと瀬戸市を中心とした一般の路線バスの2つあり、一般のバスは5~600走っている。バスの老朽化に合わせてノンステップバスに切り替えていきたいと計画。本年度は4両ノンステップバスを導入。これまでに10両導入している。

職員の研修について

実行委員会：障害を持った人に対する接客、応対の仕方について、貴社ではどのような社員研修を行っているのか教えて下さい。また、研修の進め方について障害当事者の意見も取り入れ、役割を研修にも肢体、視覚、聴覚障害などの障害当事者を多数含めてください。

JR東海：お客様に接することのある駅社員、車掌に対して入社時もしくは車内の昇進など役割をあげていく場面において教育・研修をしている。具体的には、車いすを利用の方の介助の仕

方、目の不自由な方に対するご案内・誘導の仕方、耳の不自由な方とのコミュニケーションの取り方（手話や筆談）について実際に意識を与えるとともに実践をするという形で進めている。今後は高齢化社会を考え、障害のある人に対する介助の方法を教育する他に、お年寄りに対する介助の仕方も極力取り入れていく考え。実際これまでに駅や乗務員の情報サービスの研修をほぼ終えていて、研修を受けた者が現場に戻ってそれを定着させていく段階に入っている。教育のマニュアル、取り扱いマニュアルも作成して、関係する駅社員全員に配り、一定の質を維持しようと努めている。

実行委員会：名古屋駅のバリアフリー化工事の工事箇所と着工と完成時期はいつなのか？

JR東海：現在5、6番線および12、13番線、東海道本線の上り方面は整備がすすんでいる。それ以外の新幹線を含めたエレベーター等の設備実施をしていきたいと考えている。10月から新幹線の北口の改札口付近、および東海道上り方面の1、2番線においてエレベーター整備の工事の着手をしている。若干前後するかも知れないが、新幹線の各ホーム本年度末、常備ホームについては16年度末の中部国際空港開業までに、その他のホームは16年度分として継続をしている。

電動三輪車の駅利用についての押し問答。実行委員会の怒り爆発。繰り返し討論…。時間切れで交渉は決裂のまま終了

■ いづみの感想 ■

とても白熱した交渉でした。JR東海の見解を聞いていて、とてももどかしい気持ちになりました。公共交通機関による移動手段の確保は、車いすを利用する者にとって社会参加をする上でとても重要な問題です。JRの方々おひとりおひとりの中に、この現状に対して前向きな意識をもって取り組んでいただけることを願わずにはいられません。

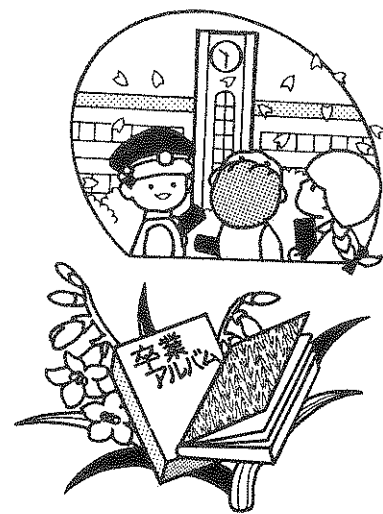
酸化と還元

堤 剋喜

高校3年生の定期試験が間近だった。
僕のすぐ後ろの席で、T君とMさんが話していた。
何となく聞いていると、どうやらMさんがT君に
「酸化と還元について説明してほしい」と頼んでいるらしい。
試験当日に勘違いしたまま解答したら・・・『化学』の大きな設問が丸ごと不正解になる。
逆に教えたりしたら、責任重大、とってか、T君が僕に振ってきた。
「ええと、酸素と化合することが酸化だよな？」
「そうそう。酸素と化合する方が酸化で、酸素を失う方が・・・」
「還元で・・・」
「それで合ってると思うけど。」
二人だけ納得しておしまい、というわけにもいかない。何とも、まどろっこしい。
「Mさん。この筆筒が酸素だとするよね。」
「ああ、それいい。その筆筒、ちょうど青いから酸素らしいし。
Mさん。堤君の筆筒を酸素だと思って！」とT君。
酸素代わりの筆筒をMさんに手渡す。
「Mさんが酸化されて、堤君が還元されたことになる。」とT君。
Mさんから筆筒を返してもらおう。
「今度は、Mさんが還元されて、堤君が酸化された。
酸素をもらうのが酸化で、酸素を取られるのが還元！」

通りかかったクラス担任は
「諸君。試験前に要点をしっかりと頭に入れておきたまえよ。」
生徒が苦勞しているのだから、そんな激励よりも、具体的に加勢してください、と言いたいところ。
「電気関係かね？」
「まあ、そうです。」
「では。私は近寄らないようにしよう。」と立ち去った。
社会科の先生としては妥当な判断。とりあえず、教育上望ましい光景に映ったようだ。

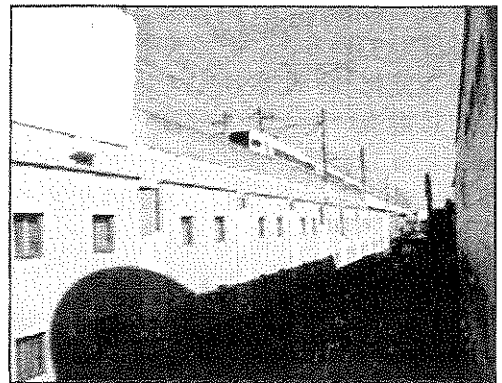
ある飲み会で「教育関係者」と同席した。
半ば屁理屈のつもりで、
「統合教育（健常児と障害児がともに学ぶ）とよく言われるけれど、
1つの学校で一人だけ障害児がいる場合、
学校生活で、その障害児は健常児としか接することができない。
その子は統合教育を受けたことになるのか？」と切り出してみた。
「そういう立場だったんですか？」
「僕は統合教育を受けたんだろうか、ってね。」
「本当に一人もいなかったの？堤さんのほかに」
「義務教育の間は僕だけでした。内部疾患の子はいたけれど。」
ふと、<酸化と還元>を思い出した。
あのとき、どうして筆筒なんかを？僕みたいなめんどくさがり屋が。
僕は言語障害、Mさんは難聴で、T君が仲介役をしてくれたんだっけ。
「今思い出した。高校の同級生に一人・・・」
「ほお。それは立派な統合教育だと思いますよ」



おかげで、周期律とか原子量のたぐいは忘れてしまっているのに
<酸化と還元>は何となく覚えている。

“かおる”の気になる旅の情報ご紹介コーナー 第4弾 ホテルドリームゲート舞浜

今回は、今年の2月29日にオープンした、東京ディズニーリゾートの玄関口JR舞浜駅に隣接するホテルを紹介いたします。このホテルは高架橋の下に建てられていて、日本で初めての「つりめんしんこうほう吊り免振工法」（高架からホテルを吊り下げる）という技術により高架下なのに静寂な居住性を実現しています。客室に入っても揺れや騒音はほとんど感じないそうです。



東京ディズニーランドの徒歩圏内。食事、ショッピングはホテル前のイクスピアリで満喫できます。全室ファミリー、小グループに対応。かつリーズナブルな料金で利用できる、新しいコンセプトのホテルです。ただ、ディズニーリゾートのオフィシャルホテルではないので、フロントでパスポートは買えません。

〒279-0031 千葉県浦安市舞浜26-5

TEL 047-351-0180 FAX 047-351-6888

<http://www.hdgm.jp/>

○ バリアフリールーム

ツインが1室あり（2階）

- ・ダブルベッドとセミダブルベッドあり。
- ・ユニットバス、両側手すり付きトイレあり
- ・応接セットあり
- ・客室内での車いすでの回転可能。

○ 部屋料金（特別設定日以外の平日料金）

バリアフリールーム	2名で22,000円～
ツインルーム	2名で22,000円～
トリプルルーム	3名で25,000円～
ファミリーツイン	3名で28,000円～

※バリアフリールーム以外はトイレ、バス別で入口に段差あり。

※料金は季節によって4つの料金設定あり。

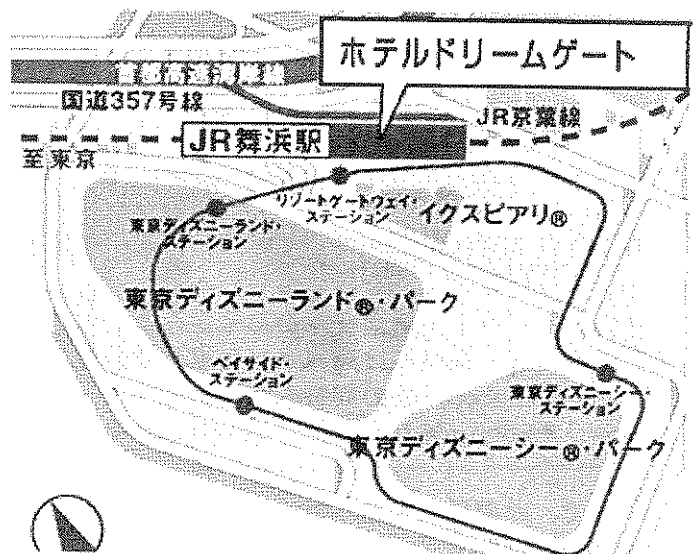
○ **身障用トイレ**：1階に1ヶ所ある

○ **レストラン**：朝食のみ営業（7:00～10:00）

大人750円

○ **コンビニストア**：2階にある（6:30～23:30）

○ **アクセス <電車>** JR東京駅から京葉線・武蔵野線で約15分、舞浜駅（エレベータあり）南口改札を左に曲がりすぐ。<車>首都高速湾岸線「葛西出口」をおりる。駐車場を利用する場合は要予約（身障用2台分あり。税込1,000円）



ディズニーリゾートオフィシャルホテル ハンディキャップルーム一覧

ホテル名	室数	タイプ	料金	備考
①サンルートプラザ東京 代表TEL 047-355-1111 予約TEL 047-354-7711 FAX 047-354-7871	1室	ツイン2名	32,340円～	ホームページに部屋の間取りと主な設備のデータあり。福祉用具の準備はなし。 http://www.sunroute-plaza-tokyo.co.jp/index_jp.htm
②シェラトン・グランデ・トーキョーベイホテル 代表・予約047-355-5555 FAX047-355-5566	7室	ツイン2名	37,950円～ 季節に変わりなく一定料金	ホームページに部屋の間取り。滑止めマットの貸出しのみあり。要予約。 http://www.sheratontokyobay.co.jp/stay/room/acce.html
③東京ベイホテル東急 代表・予約TEL 047-355-2411 FAX047-350-0109	1室	ツイン2名	47,355円～ 季節に変わりなく一定料金	ホームページには何も詳しい情報がない。スーペリアツインタイプと室内は同じで、浴室・トイレが広くなっていて、手すりが付いている。移乗台の貸出しあり。要予約。 http://www.baytokyu.com/toppage.html
④ヒルトン東京ベイ 代表・予約TEL 047-355-5000 FAX047-355-5019	1室	ツイン2名	19,000円～	ホームページには何も詳しい情報がない。福祉用具の貸し出しなし。二人しか泊まれない。 http://www.hilton.co.jp/dispatch/ViewPropertyHomePageForm?hid=11113538&ViewPropertyHomePage=&formName=ViewPropertyHomePageForm
⑤ホテルオークラ東京ベイ 代表047-355-3333 予約047-355-3344 FAX047-355-3366	3室	ツイン2名	25,200円～	ホームページには何も情報なし。一般客室と同じ間取りと大きさで、バス・トイレに手すりがついた部屋が3部屋ある。キャスター付きのシャワーいすど滑り止めマットの貸出しあり。要予約。 http://www.okuratokyobay.net/index.cfm
⑥ホテルミラコスタ 代表・予約047-305-2222 FAX047-305-1172	1室	ダブル2名	41,600円～	ホームページには何も情報なし。移乗台、背もたれ付きバスタオルの貸出しあり。要予約。 http://www.hotelmiracosta.com/japanese/index.html
⑦ディズニーアンバサダーホテル 代表・予約047-305-1111 FAX047-305-1171	6室	ツイン2名	39,300円～	ホームページには何も情報なし。いくつかの部屋タイプがあり選べる。移乗台、バスタオル、浴槽内と外用の滑り止めマットの貸出しあり。要予約。 http://www.disneyambassadorhotel.com/index.html

* 料金は、夏休み、春休み、冬休みやゴールデンウィーク、土曜日、休日をのぞく平日（一番安い時期）の料金を記載、すべて税、サービス料込み。季節により料金設定が異なるので、詳しい料金は直接ホテルへお問い合わせください。

* 東京ディズニーリゾート 総合予約センターTEL045-683-3333（9:00～21:00）でも予約可能です。

チケットラベルの
おすすめツアー
(名古屋発着、添乗員同行)

シンガポールの豪華客船
スタークルーズ 6日間の旅

スタークルーズが誇る76,000トンの最新鋭豪華客船で3泊4日のシンガポール、マレーシア、タイを巡るクルーズ。飛行機は、車いす用の広いトイレが充実したシンガポール航空利用。

期間: 7月3日(土)~8日(木)
料金: 175,000円(車いす用キャビン)、
208,000円(専用ベランダ付き)
2名1室利用時の一人料金
ポイント: 全食事付き、添乗員付き

アテネパラリンピック観戦
ギリシャ 8日間の旅

オリンピック発祥の地、ギリシャ・アテネ。今回のパラリンピックから正式種目として認められた競技も多く、ほとんどの競技の決勝戦が行われる日にツアーを設定!!

期間: 9月24日(金)~10月1日(金) 予定
料金: ひとり 448,000円(2名1室)
ポイント: 同じホテルに連泊、決勝戦、閉会式も観戦。

南太平洋の宝石
タヒチ・ボラボラ島 8日間

一度行ったら病み付きになると言われるボラボラ島は信じられない程の透き通った海と熱帯魚の多さ。すでにリピーターの方々も多く、シュノーケルも楽しめる。

期間: 8月17日(火)~24日(火)
料金: ひとり 548,000円(2名1室)
ポイント: 最高級の水上コテージを利用

夏だ! 沖縄 3日間の旅

観光も食事も含まれた安心プラン。

期間: 7月15日(木)~17日(土)
料金: ひとり 125,000円(2名1室)
ポイント: 美しい夕日見えるリゾートホテルを利用

■申し込み・問い合わせ■

名古屋市中区錦2-19-25日本生命広小路ビル2F
TEL:052-222-7611 FAX:052-222-1223
<http://www.heart-to-heart.ne.jp/>

JTBバリアフリープラザ
(名古屋発着、添乗員同行)

初春の道央・道南をめぐる
ベストツアー

ライラックの咲き誇る札幌、運河の街小樽、エキゾチックな街函館の見どころをまわり、北海道を代表する“山海の幸”を堪能。

期間: 5月23日(日)~26日(水)
料金: ひとり 165,000(2名1室)
ポイント: リフト付貸切バス利用

■申し込み・問い合わせ■

東京都中央区日本橋1-13-1 日鉄日本橋ビル2階
TEL 03-3273-8410 FAX 03-3273-8413

お詫びと訂正

前号に掲載した、名鉄観光の、車いすで行く「浜松花博ツアー」の問い合わせ先に間違いがありました。大変申し訳ありませんでした。

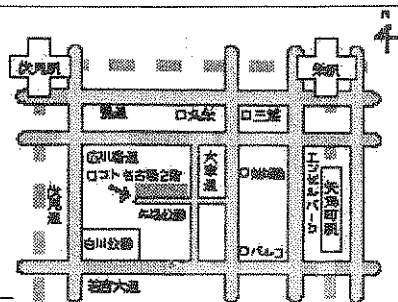
■申し込み・問い合わせ■

名鉄観光「出かけてみる会」(日・祝日休)
E-mail:barrierfree@mwt.co.jp
TEL 052-583-1963 FAX 052-582-5031

グルメな調査隊 第32弾

名古屋市Mさんより

友だちやカップル、グループで来ても雰囲気がよくて入りやすいお店です♪
 少し高めですが、毎月替わる創作料理は季節ものが楽しめます。デザートが
 3種楽しめるランチもうれしいです。個人的には、トマトソースパスタがオススメ♪



PIZZA&PASTA Buco di Muro (ブコ・ディ・ムーロ)

場所：名古屋市中区栄 3-18-1
 ロフト名古屋 2階
 TEL・FAX 052-265-2831

最寄り駅：名古屋地下鉄名城線『矢場町駅』下車、徒歩5分。

※ ホーム～改札、車いす対応エスカレーターあり。改札～地上、エレベーター（6:30～23:00 運転）あり。

★ジャンル イタリア料理

★おすすめメニュー

- パスタ あさりと岩海苔のタリオニーニ（パスタの種類） 1,180円
- ピッツァ メタ・メタ（マルゲリータ/ハムときのこと/モッツァレラチーズ等） 1,380円

※メタ・メタとは、ハーフ&ハーフの組み合わせができること

○ランチ（11:00～15:00）

パスタランチ 1,200～1,300円 ピッツァランチ（直径32cm） 1,200～1,300円

- ・本日のおすすめパスタ（6種から選ぶ）
- ・本日のおすすめピッツァ（14種から選ぶ）
- ・気まぐれサラダ
- ・気まぐれサラダ
- ・好きなドリンク（14種から選ぶ）
- ・好きなドリンク（14種から選ぶ）
- ・デザート3品盛り合わせ
- ・デザート3品盛り合わせ

プレートランチ 1,000円～、ペアランチ 3,300円～

※料金は多少変動することがあります。

★店内の様子

出入り口/スロープ、扉無し

店内/段差あり（2段）、イス移動可、72席、テーブル（高さ64cm）

※店内には、段差なしで行くことができる席も、半数以上あります。

★身障トイレの様子 同じ階にあり

★駐車場 ナディアパークの建物地下駐車場（身障用は、B1～B3各階に4台分あり）、

※地下駐車場は、Cブロック（各階にある）の店舗内出入り口が便利。24時間対応。

出入り口スロープ、自動ドア、車いす対応エレベーターあり。

昼間（8:00～20:00）30分/250円 夜間（20:00～8:00）30分/100円

駐車料金割引/店舗ごとに5,000円以上食事または買い物すると、1時間無料。

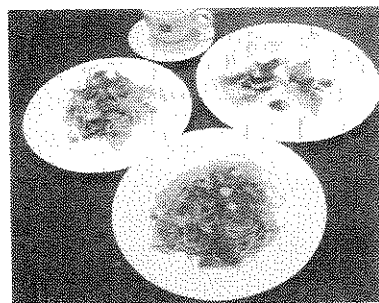
※1階インフォメーションセンターにて、レシートと交換

★営業 11:00～22:00（21:00ラストオーダー）

定休日/今年は、あと8月24日（火）のみ

★特典 サポータークラブ会員の方、カード提示により10%割引

（期間4月20日～8月30日まで）



引き続き、お気に入りのお店情報をお待ちしています。

福祉情報誌発行委員会 TEL 052-851-0059 FAX 0525-851-0159

●68号の「鈴木孝光さん」の記事を読んで

鈴木さんが言っておられる「障害を持つ人が問題意識や提言できるようになる」という意見に、私は、全然だめだなあと感じていました。生活面、経済面で夫に依存しているのが現実です。「生活できるからいいや。」じゃなく、障害者として、人間として、もっと考えて行動できないといけないなと思いました。

.....

●岐阜情報●

高山市にあるガストは多目的トイレがあつていい。もう少し広いといい。東海北陸自動車道、荘川インター入り口の道の駅にある「桜香の湯」は貸し切りできる。福祉風呂があつていい。シャワーチェアだけなので、シャワー車いすがあれば。

○「ガスト高山三福寺店」

岐阜県高山市三福寺町394-1
TEL 0577-37-7506



○「桜香の湯」

貸し切りできる福祉風呂がある。完全個室なので、介護の必要な方も安心してご入浴可能。※要予約

泉質:ナトリウム-炭酸水素塩泉

効能:神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、うちみ、くじき、冷え性、疲労回復、健康増進等

営業:10/1~6/30 10:00~20:30
7/1~9/30 10:00~9:30

休日:木曜日、大晦日、元旦

施設:大浴場、露天風呂、シャワー、脱衣所、ドレッシングルーム、トイレ、自販機、レストラン

料金:大人700円、子供300円(4~12才未満)、身障者手帳保持者630円、幼児無料

所在地:大野郡荘川村猿丸

TEL05769-2-2044

アクセス:東海北陸自動車道荘川IC下車
左折(白川方面)してすぐ左手

●教えてください●

私は脊損で車いすを利用して生活をしています。自宅はバリアフリーで車いすで移動ができるのですが、一歩外に出ると一人で移動は困難なときがあります。2~3段ぐらゐの階段のあるところは、すべて入れません。みなさんは、そんな階段の移動はどのようにしているのですか?

編集部:2人に聞いてみました。

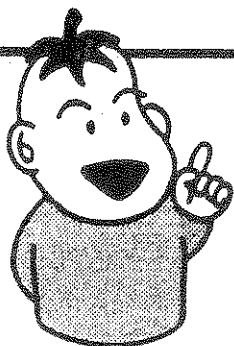
Nさん(脊髄損傷):それぞれ状態が違うし、状況もよくわからないけれど、僕の場合は、<2~3段の下りの場合>

①周りに誰もいなくて、どうしても行かなくてはいけないときは、周りの状況にもよるが、車いすのまま下りる。車いすから降りて、車いすを段の下へ移動。そのあと体を移乗。②人が1人いるときは、介助ハンドルを支えてもらい、キャスター上げの状態を下りる。③人が複数人いるときは、いる人に、車いすごと下ろしてもらう。

<2~3段の上りの場合>

①車いすから降りて、車いすを段の上へ移動。そのあと体を移乗。②介助ハンドルを支えてもらい、キャスター上げの状態にし、引き上げてもらう。③いる人に、車いすごと上げてもらう。その他として、段があることを知っているのなら、スロープを用意しておく。

Hさん(頸髄損傷):①その階段の上に目的の店があるのであれば、通行人に頼んで店に連絡してもらい、店の人に助っ人の手配を任せろ。②迂回して階段がクリアできるのであれば迂回する。例えば栄地下でTV塔側から南へ行くと階段があるが、中日ビルから行けば階段が無い。③階段しかなく、それが数段であれば通行人に手助けを頼む。④誰も居なくて階段が2~3段であれば車いすを降りて1段ずつプッシュアップで上る。(車いすも)その内、通り掛かった人が手伝ってくれる。⑤それ以外はあきらめる。



読者のみなさんから のメッセージ

たくさんのメッセージ、ありがとうございます。



● 毎号、たいへん情報量も多く、自分が生活していく上で、役立っています。先輩の方の、これまでの道のりなど考えさせられることも多く、勉強させてもらっています。

● 友人にすすめられて読んでいます。私も年に1人は読者を増やそうと心がけながら、何も協力らしい協力はできていませんが、頑張ってください。

● 行動範囲が狭くなりがちなので、情報誌を見て広がります。

● 退院して9ヶ月近くになりますが、週に1、2回の病院への外出以外、自宅ですごしています。出かけるキッカケがなく、このままではと思っていたとき時、この情報誌のことを知りました。これから、旅行もしてみたいし、おいしい物を食べに出かけたいし。楽しみに待っています。よろしく願いいたします。

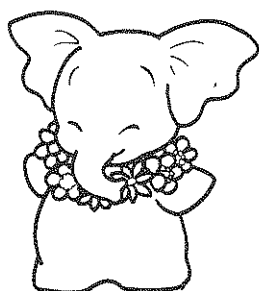
● 福祉情報も興味深い内容が多くてよいと思います。バリアフリーの旅行の紹介も毎回楽しみにしています。

● 海外旅行の話は楽しい。「私も行けるんだ!」と夢が広がる。

● 年を重ねるごとに内容が濃くなっている様に思います。これは皆様の努力のたまものだと思います。これからも内容の充実した紙面になることを願っています。

● いつもありがとうございます。「〇〇って何だろう?」は楽しみのひとつです。

● いつも体験取材に基づく記事が多く、感心しています。私は旅行が好きなので、レジャー情報や旅行情報から読んでいます。その後で、インタビューや制度のことなどを、ぼつぼつ読むといった感じです。最近では、目が疲れるので、一気に読むということができないので。



● 市町村によって、福祉制度、学校、医療の事情が違うので、他の事を知るにはとても役立っている。市販の本とかにないバリアフリーの体験談、実際、現地に行って感じたことをストレートに聞けて良い。

● ケータイ電話の割引はとても助かりました。

● 紹介されたグルメ“さかなやNHKビル内”よく利用しています。車いすでも入りやすいですね。

● とても楽しく参考にさせてもらっています。特にレジャー情報を見ていちご狩り等行っています。車いすの私はたいてい見学だけですが、車いすOKの施設が紹介されているので、子ども達と一緒に楽しめてとても助かりました。

● 今いる場でもいろいろできるが、その仕組みをうまく使えないでいじいじしている。何とか自立の方向に向いて行きたい。

● 初耳の情報が多くとても気に入っています。

● 載せられている情報、記事は私の生活に不可欠なものばかりです。自分と同じ障害の程度の人に関する記事は、これからの自分の生き方に大いに参考になったり、役立ちます。

● 今の掲載内容はよく整理されているので満足しています。

● いつもご苦労さまです。これからも期待しています。頑張ってください。

● ためになる事が多い。

● いつもパワーを頂いています。今後も期待しています。



● 情報誌ならではの視点で。今後も長く継続して欲しい。

● いつも大変でしょうがご苦労様。情報誌を参考に行政に意見したり旅の参考にしている。各地の読者がそれぞれの情報を流せばもっと良いモノになるのでは？

● 施設の通信とは違って幅広く、色々な情報が載っているので、読み易い。年々良くなっている。

● いつも楽しみにしております。地元の情報なので身近に感じています。



● 長年情報誌を発行しておられ、その継続性がすばらしいと思って読ませて頂いています。

● 内容がいつもバラエティに富み参考になる情報があり、とてもありがたいです。今後も読者として楽しみにしていますので、はりきって発行を継続させて下さい。

● いつも楽しみにしている。これからも、より一層、おもしろい記事に期待。

● 読みやすく、内容も充実していると思います。続けるのは大変かと思いますが、助かっている方々は沢山かと思えます。もっと広がって行くことを願っています。

● いつも様々な福祉情報を元気にいただいています。他の福祉関係の機関誌とはひと味違う視点、内容で楽しみにしています。いろいろ大変かと存じますが、頑張ってください。今後ともよろしくお願いたします。

● とってもためになることがいっぱい。もっと広めて欲しい。

● いろいろと情報が分かりやすく書かれていて読みやすい。

● 毎回楽しみに拝読しています。私は、この4月から社会福祉士を目指して専門学校に入学します。一生懸命勉強して少しでもお役に立てる事ができればと思います。

● 私は、障害者のグループに入っておりませんので、貴誌が唯一の情報源ですので、楽しみにしております。

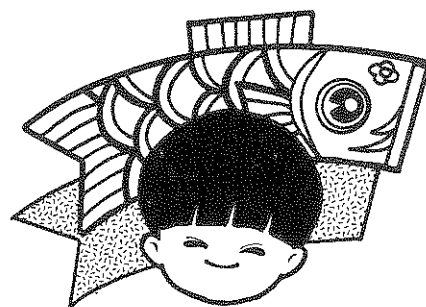
● 多くの一般の健常者の方々にも見ていただいて実態を知ってもらえると、もっとよりよい環境に世の中になる様に思います。

.....

福祉関係におつとめの方より

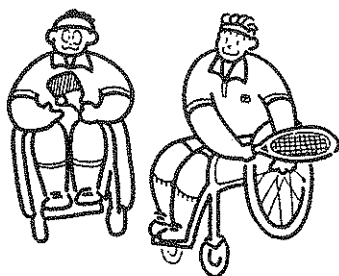
● 障害者の方との関わる参考にしています。

● いつも元気をもらっています。障害を持つ方々が、前向きに、社会の自立者として、生きていこうとせられる姿(意欲)が感じられ、励まされます。と同時に、障害者の方の状況が伝わってきて、私にとっては障害のある方々の理解の一步にもなっています。



● 「障害」って言葉は心身の障害とは別によく使われる言葉です。私もいろんなことが障害となってこうしたい、ああしたいと思うことがありますが、情報誌を読んで「よーし私だってやればできるぞ！」という気持ちにさせてもらっています。実際40歳を過ぎてから出産したのも歩くのお父さんとお母さんのおかげです。そして、子供を育てていく上で妊娠中も合わせて、同じ立場を体験しました。歩道に止めてある自転車のためにベビーカーが通れなかったり、逆にベビーカーを邪魔だなあという目で見られたり。ちょっとした段差も地下鉄の階段も。今の所この情報誌は身体に障害のある人を中心として構成されていますが、広い意味でいろんな人の役に立てるのではと思います。

● 障害を持つ人が私のまわりにいらっしゃらないので、そういう方のことがなかなかわからない。この情報誌でいろいろ教えられます。自分が関わっているいくつかの団体の人達に折に触れ、学んだことを広めて行こうと思っています。



● いつも興味深い情報を有り難うございます。大変読みやすく仕事する上でも役立っています。これからも愛読していきたいと思います。

● いつも生きた情報をありがとうございます。相談業務の参考にさせて頂いています。

● いつもたくさんの新しい情報ありがとう。生の声が直接聞こえてきて勉強になる。どうしたら、もっと住みよい楽しい生活ができるかともに考えていけたらと思う。毎号楽しみに隅から隅まで読んでいます。



● 病院の作業療法士ですが、障害者の立場で考えてある情報が多々あり、そういった内容が気に入っている。何か情報を必要とされる対象者に「こんな情報誌があるよ」と紹介したいということと、私たちがこの情報誌を読むことで、今後役に立つことはないかと考えるために購入している。

● 現場を殆ど経験していない私にとってみなさんの体験談が今、一番参考になります。



● 障害者自らの目線でできどらず、飾らず、鋭い観察力で持って、そして最も大切な「生きていくことへの前向きな姿勢」これにはいつも脱帽しています。しかしこれは本来誰もが持つ得るものだと思いますが、忘れていたり、現状に流されたり。

● アクティブな内容にいつも私自身がエネルギーをいただいています。障害者の方々の生活を理解するために役立っています。

.....

お母さん、お父さんより

● なかなか情報が入りにくいのでとても参考になっています。先月号のmoveプログラムのことは勉強になりました。

● アテトーゼの二次障害の記事等、興味深く読ませて頂きました。こどもの将来をほんやりとつかめるし、今の障害をもった大人の人達の状況がわかるので、いつも「へえ〜」（トリビアの泉？）と読んでいます。

● 治療法や訓練法など参考になることが載っていて勉強になる。本年度は二脊の方の出産、ムーブプログラムなど興味をもった。

● いつも充実した内容で、情報誌が届くのを楽しみにしています。ボトックスの情報は大変ありがたかったです。10歳の息子も去年2回ボトックス療法を行ったのですが、言葉が話せないため、本人がどう感じているかがわからず、大人の方の感想をずっと聞きたいと思っていました。ありがとうございました。



● うち重心の娘ですが、希望をもって見えています。勇気づけられてます。ありがとうございます。

● 今、小学校に通っているので、しっかり読むところは必要な情報がテーマになっているときや、住宅の事などですが、本人が大きくなってからとても役に立つ情報誌だと思っています。これからもよろしくお願い致します。

● 昨年、取り上げて頂きました「With」のメンバーです。まだまだ目先の学校生活に振り回されていますが、いずれ、情報誌に出ている方の様に、息子が自立した生活ができればと思っています。

● 様々な障害をお持ちの方が独立して生活して（しようとして）いらっしゃる姿を見ることができて、我が子もいずれは自立の道を歩めるだろうかと希望がわいてくる。息子は軽い知的障害もある。地域の小学校へ母親や介助員の付添で通っている。今後の学校生活や卒業後の生活のヒントになる様な記事を楽しみにしている。

.....

ご要望

- なんでも知りたい。
- 年齢（50才代）にあった情報が欲しいです。私達の時代はパソコン等はチンプンカンなので、年寄り向けの情報も。
- 私もいろいろな所にでかけるため、駅や周辺のバリアフリー情報がたくさんあると助かります。もちろん私も出かけた場所を取材してこの情報誌に投稿したいと思います。
- 移動手段（地下鉄、バス、タクシーなど）の新しい情報は極力早く教えてほしい。
- 楽しみに待つ一人である。

移動情報と支援費情報を今後も希望する。

● 今後の動き、現在の福祉の働きかけ、未来像みたいな（新聞では部分部分しか読みとれない）まとめがほしい。

● 福祉制度など難しい内容の事をわかりやすく説明してほしい。

● 支援費情報、今話の運動流れを知りたい。

● もっと制度・運動など書いてあると勉強になります。情報が早いので助かります。

● 飛行機の席やトイレなど具体的な情報が欲しい。

● 友達作りの欄を作ってください。自己紹介的で良い。

● 障害者の困り事（悩み事）・相談したいこと等々のコーナー

● 地域ごとの情報が欲しい。

● 全国、外国の情報もよろしくお願いします。

● 名古屋市の福祉施策の情報は多いようですが、他市の情報もお願いします。

● 東京に住んでいるので、関東方面の情報が少ない。仕方のないことだと思いますが。

アンケートにご協力頂いた皆さま、たくさんのご意見、ご要望ありがとうございました。今号だけでは掲載しきれませんので、次号でも引き続き紹介させていただきます。

名古屋市の鉄道エレベータ情報

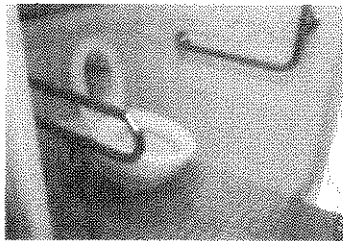
●名城線 築地口駅 3月29日より

各ホーム～改札口2基/コンコース～地上1基

「まっちの子育ては大変だ！」の

小島万智(電動車いす・脳性まひ)の使用レポート

名城線なので、ホームと電車の段差がやはり高く、一人での乗り降りは怖くてできなかった。エレベータは、二方向ドアなので中で向きを変えずに済むから使いやすくてとてもありがたい。ボタンも押しやすかった。トイレは、視覚障害者のための音声案内がある。トイレは男性、女性、真ん中に多目的トイレ。きれいだった。ティッシュ



ュ自販機が使いにくい。男子トイレはのぞけなかったけれど、女子トイレの一つは、両側に手すりがつい

ていて広めなので、狭めの手動車いすであれば使えそうでした。
 ～駅から電動で20分のところにある『荒子川公園』に行ってきました～
 築地口からノンステップバスで4区。桜がきれいで、子供を遊ばせるわんぱく広場もあって、のんびりと市民が集える公園でした。

●名城線 志賀本通駅 3月30日より

各ホーム～改札口2基/コンコース～地上1基

「かつみのおまかせ情報」の

佐々木克己(電動車いす・脳性まひ)の使用レポート

身障用トイレは男女兼用で2ヶ所(隣設)ある。改札を出てから地上へのエレベータまでの移動は、かなり長いうえに、ちょっと急なスロープをあげるので大変かな。

エレベータは身障仕様でボタンは少しの力でも押せる。駅周辺はコンビニ



3軒ぐらいしか利用できる場所はなかった。

●東山線 藤ヶ丘駅(名古屋方面) 3月30日より

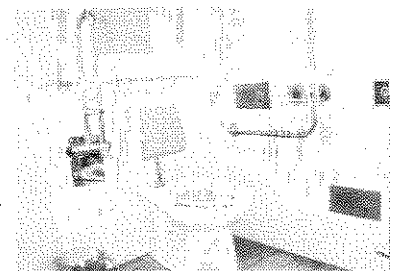
発車ホーム～改札口1基/コンコース～地上1基

●東山線 東山公園駅 3月30日より

コンコース～地上1基/ホーム～改札口は設置済み

克己の使用レポート

身障トイレは男女兼用で1ヶ所。最近流行のベビーベッドがある多目的トイレ。トイレの洗浄ボタンは2ヶ所あり、手をかざして流すタイプとボタン式。改札から地上のエレベータは二方向式なので、中で回転する必要がなく便利。エレベータ内に「おりる時はこの扉があきます」と貼ってありわかりやすかった。



～駅を出る～

ナフコ東山店がある。店内は広くて動きやすい。ただ、店員さんは障害者にはあまりなれていない感じだった。あと「99円ショップ」があり、食料品・食器・お花などが売っていた。店内に段差はないけれど、狭いので車いすの操作に注意が必要。

●JR金山駅に待望のエレベーターが完成!

東海道本線と中央本線にやっとなりました。あとは、地下鉄と名鉄ですが、来年の春の愛知万博と中部国際空港開港までには完成する予定です。



その他の駅情報

●地下鉄4号線 名古屋大学～新瑞橋間

今年の10月6日(水)に開業予定。

●最高裁で、生活保護の貯蓄 認められる！

生活保護を利用している両親が、娘の高校進学のために、生活を切りつめ保護費の中からコツコツためていた「学資保険」。これを行政は、収入認定の対象になるとして保護費を減額したため、これはおかしいと訴えた裁判の判決が降りました。結果は、「生活保護法の趣旨・目的にかなった貯蓄であれば、収入認定の対象としない。高校進学のための貯蓄を「資産」とみなし生活保護費を減額した行政処分は違法」と認定しました。これは、生活保護利用者が、「資産を保有していても保護を受給できる」という初の判断で、これによって、国は原則として預貯金の保有を認めてこなかった現行制度の見直しを迫られることになりました。

.....

●無年金障害者の問題

88年までは任意加入だった国民年金の保険料を支払っていなかったことを理由に障害基礎年金を不支給とされている人が、全国にたくさんいます。そして、「それはおかしい！」と裁判を起こしている人たちもたくさんみえます。その一つで首都圏の元大学生が賠償を国に求めた訴訟の判決がありました。内容は、「障害を負った学生が保険給付を受けられるよう立法的手当てをしないまま放置したことは法の下での平等を定めた憲法に違反する」というもので、国に計1500万円の賠償を命じました。しかし、残念ながら国がこの判決にたいし控訴をしたため、まだまだ道は険しそうだ。

.....

●ニュー福祉定期郵便貯金

今年の3月1日に、上乗せ利率が0.5%に見直され、取扱期間が1年間延長されました。これは、一般の定期貯金より金利を1%優遇取

扱としている物で、全国の郵便局で取り扱っている。民間金融機関で福祉定期預金を利用している人の利用も可能。

対象者:老齢福祉年金、障害基礎年金、障害厚生（共済）年金、遺族基礎年金、遺族厚生（共済）年金などを受給されている人

預入期間:1年

利息:預入期間1年の定期郵便貯金の利率（預入時）+0.5%

預入限度額:一人300万まで

※非課税の取扱いもできる場合あり

期限:平成17年2月28日まで

.....

●ベンチレーター国際シンポジウム

ベンチレーターとは人工呼吸器のことです。この呼吸器を利用した当事者のグループ「ベンチレーター使用者ネットワーク」は、呼吸器使用者が施設や病院ではなく、地域で自分らしく生きていくためには、今、当事者自身が力をつけていく必要があると考え、ベンチレーター使用者の自立生活や社会参加の進んだ海外から当事者を招いて「国際シンポジウム」を開催します。

内容:基調講演／特別医療講演／シンポジウム

■札幌 6月20日（日）10:30～17:30

場所 浅井学園大学北方圏学術情報センター

■東京 6月23日（水）10:30～17:30

場所 国立オリンピック記念青少年総合センター

■大阪 6月27日（日）11:00～17:30

場所 大阪オスカーホール

<http://www.jvun.org/>



.....

●バリアフリー宿泊情報のサイト

国土交通省が、『バリアフリー宿泊情報』のホームページをオープンしました。

<http://www.bfas.jp/barrier/jsp/visitor/BH001.jsp>

このページには、宿泊施設から得た情報が掲載されており、現在、国内1,057ヶ所のバリ

アフリー宿泊施設情報が掲載されている。ただ、施設側の自己申告による情報なので、実際に利用した人の情報も欲しいところだ。「介護」「食事」「地域」「障害別」の検索項目がある。うれしい点は、「必要な場合、従業員による排泄の介助(移動、着座、清拭)が受けられます」「車いすで利用できるタクシー、介助者派遣、手話ガイド、医療機関等の地域の事業者と連携がとれ、利用者に紹介等ができる体制になっています」と答えている施設が多くあることだ。

● 名古屋市内の

「車いすでも通院できる診療所マップ」

調子の悪いとき、病院へ行きたくても「どこがいいのだろう?」と病院選びはいろいろ迷うことが多い。特に、車いす利用者にとっては、まず、「病院の中まで入ることはできるだろうか?」「診察室へは?」「トイレは?」といったハード面のことや、介助を必要とする場合の対応など、訪れる前に知っておきたいことはたくさんある。できれば、近くの診療所に行きたいけれど、そういったことがわからないので、必要がなくても大きな病院へ通いがちとなってしまっていたり。そこで、くれよんBOX(本誌の編集委員が中心となって作った作業所)で、名古屋市内の、車いすで診察室まで行くことのできる診療所87件を調べた。詳細なデータ(写真も多数)と、医師の写真やコメントなどをHPで紹介している。いろいろな方に利用して欲しい!

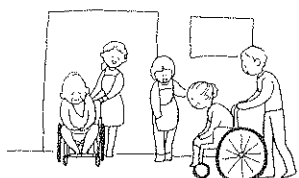
冊子版も作成しており、市内の各区役所、入所通所授産施設、更生相談所など福祉関係の施設に配布しているので、ぜひ、ご覧下さい。

■詳しくは、くれよんBOX

TEL 052-733-5955

FAX 052-733-5956

<http://www.crayon-box.jp/>



● 「'03年度 愛知県 人にやさしい街づくり連続講座記録集」完成!

この講座は、車いす利用者、視覚障害、聴覚障害といった障害をもっている人や、高齢者、主婦、学生、それから、行政の人や設計士といった専門職の人など、いろいろな人が受講し、人にやさしい街づくりについて、学び、課題を見つけ、グループワークでは社会に対して提案をしていくという内容になっています。その記録集がこの度完成しました。講座の内容や写真も多数掲載し紹介していますので、ぜひ、読んでみてください。



■ A4版112ページ、白黒

■ 1冊1000円で頒布

■ 連絡先: NPO法人ひとにやさしいまちづくりネットワーク 東海
〒463-0096 名古屋市守山区森宮町100番地
TEL/FAX 052-792-1156

E-mail: hitomachi@npo-jp.net

<http://www.hitomachi.npo-jp.net>

*名古屋福祉用具プラザのAJUのコーナーにもあります。

● 「愛知県内における支援費制度実態調査報告書」完成!

これは、支援費制度1年目における問題点を、アンケート調査により表面化させようという目的で作成されたもので、県下88市町村の担当窓口と、同じく県下の支援費制度指定事業所の中のホームヘルプサービス事業所202件に送付し、前者は49市町村から(回収率55.7%)、後者は106件(回収率52.5%)の回答を得ている。地域格差、運用の戸惑いなどよくわかるデータとなっている。欲しい方には下記の方法で入手可能です。

料金: 1冊1,000円、送料は390円

*現金封筒の宛名に、「支援費制度実態調査報告書係」とご記入頂き、1,390円を入れて送ってください。

問い合わせ: 愛知県重度障害者団体連絡会

TEL052-851-5240 FAX 852-4810

各種相談窓口

医療相談室

長年、診療機関で障害を持つ仲間の医療ケアに携わって見え、リハビリテーション医の万歳登茂子（まんざいとしこ）先生のご協力で開設している相談室。

- <相談日> 5月15日（土）、6月19日（土）
予約制、30分程度、時間は要相談
- <対象> 障害を持っている人
- <費用> 無料
- <受付> 自立生活情報センター
サポート J（昭和区松風町2-28）
TEL 052-841-6677 FAX 052-841-6622
E-mail : aju-inc@pop21.odn.ne.jp
- <場所> 名古屋市昭和区恵方町2-15
（社福）AJU自立の家サマリアハウス内相談室

生活の道具相談室

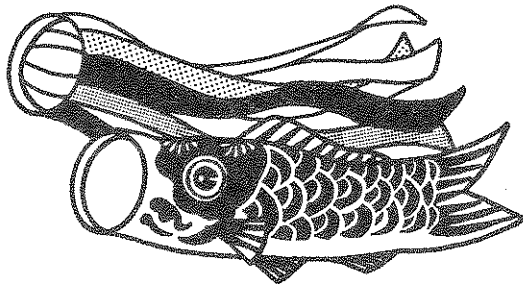
障害当事者、福祉、医療関係者が有志で集まり、道具の相談を受け付けています。

- <内容> 障害を持つ人を対象に、生活の道具の導入相談や、手持ちの道具の工夫や、作ってほしい道具などの相談と制作
- <相談日> 5月15日、6月5、19日
いつでも土曜日の午後1:30～
* 事前にご連絡をいただくとスムーズです
- <費用> 無料
- <受付> サマリアハウス 浅井
TEL 052-841-5554 FAX052-841-2221
- <場所> 名古屋市昭和区恵方町2-15
（社福）AJU自立の家サマリアハウス内

やさしい住まいの支援ネット

障害当事者、福祉、医療、建築関係者が有志で集まり、住まいの相談を受け付けています。

- <内容> 障害を持つ人の住宅などの相談
- <相談日> 生活の道具相談室と同じ
- <費用> 無料（訪問時は交通費実費必要）
* 受付、場所は生活の道具相談室と同じ



編集後記

今年は暖かくなるのが早く、桜が早々と咲き誇った。日本各地から華やかな便りが届けられる傍ら、世界は揺れ動く。根拠が崩れてきた戦いに、多くの人々が憤りを感じている。多くの人々が亡くなり、多くの人々が負傷して苦しんでいる。大義の下に国が唱える人道支援もきな臭い。多くの問題を抱えながらの支援はいかかなものか。イラクの人々が望むものは何だろうか。当事者が望むものは当事者に聞くのが筋だろう。我々の生活支援の基盤となった支援費制度もきな臭い。望むものは声を出して勝ち取ろう。多くの声が、多くの動きが世論を動かす。桜の下では、例年のごとく宴が繰り広げられ日頃の憂さをここぞ とばかりに晴らしている国民。日本は本当に平和で豊かな国なのだろうか…。



鬼頭

平成16年度分の購読料(1,500円)のお振り込み、ありがとうございました

編集委員一同、内容の充実にも努めてまいりますので、どうぞ支援のほどよろしくお願い申し上げます。お振り込み頂いた方の封筒の宛名近くには「購読料支払い済み年度」を書かせていただいておりますが、宛名印刷の関係で、4月5日以降にお振り込み頂いた方は、処理が間に合いませんでした。申し訳ありません。次号での確認をお願いいたします。

AJU 福祉情報誌購読者募集中！！
隔月発行
年間購読料 1,500 円
振込先：郵便局 00890-0-90573
加入者名：福祉情報誌発行委員会